

目 次

平成28年度 公益社団法人千葉県看護協会定時総会開催にあたって	
会長 星野 恵美子	2
平成28年度 公益社団法人千葉県看護協会定時総会プログラム	4
審 議 事 項	
第1号議案 平成27年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について	5
第2号議案 平成28年度役員及び推薦委員の選出について	40
第3号議案 公益社団法人千葉県看護協会入会及び退会規程の改正について	41
第4号議案 平成29年度 公益社団法人日本看護協会 通常総会代議員・予備代議員の選出について	42
報 告 事 項	43
平成28年度 公益社団法人千葉県看護協会事業計画及び収支予算について	44
平成27年度 理事会報告	59
平成27年度 業務運営会議報告	61
平成27年度 施設等会員代表者会報告	62
平成27年度 地区部会長会等報告	63
平成27年度 職能委員会報告	64
平成27年度 公益社団法人日本看護協会関係報告	96
平成27年度 常任委員会及び推薦委員会報告	100
平成27年度 特別委員会報告	115
参 考 資 料	
平成28年度 千葉県看護協会長表彰等	117
看護職員の表彰	120
平成27年度 事業の実施状況	121
要望書	176
平成27年度 県・市町村及び関係団体の委員等受託状況一覧	182
平成27年度 各種団体の実施する行事への後援・協賛等実績一覧	185
名誉会員	187
平成27年度 役員・委員・地区部会役員名簿	188
平成27年度 地区・職能別入会状況・入会率	199
年度別会員数	200
地区部会区分図	201
公益社団法人千葉県看護協会 組織機構図	202
公益社団法人千葉県看護協会 組織運営図	203
公益社団法人千葉県看護協会 業務体制	204
看護者の倫理綱領	205

平成28度 公益社団法人千葉県看護協会定時総会開催にあたって

会 長 星 野 恵 美 子

会員の皆様にはこの1年、協会運営に対する惜しみないご協力とご支援を有難うございました。お蔭をもちまして、当初の計画に基づき各事業とも滞りなく推進することができました。心から御礼申し上げます。

この度の「熊本地震」による熊本県・大分県の被災者や関係者のご心痛・ご苦勞に心よりお見舞い申し上げます。

また、被災者支援としての災害支援ナースの派遣につきましては、年度当初・ゴールデンウィークの期間にも関わらず、多くの施設や会員の方々からご協力を頂きました。

更に、現在も義援金の募集中ですが、既に、多くの方々に温かいご支援を頂いております。心から感謝を申し上げます。

さて、国は、将来も社会保障制度を維持していくため、社会保障・税の一体改革を進めており、平成26年6月「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」いわゆる「医療介護総合確保推進法」を制定し、また、医療・看護等に関わる法・制度の改正を行いました。

これに伴い、千葉県では「地域医療構想」を盛り込んだ「千葉県保健医療計画」の改定に着手し、昨年度末までに「地域医療ビジョン」の策定に向けた会議等が開催されてきました。今後の医療・看護は、高度急性期から在宅医療・介護まで一連のサービスを提供するために、効率的かつ質の高い医療提供体制と、各地域において住まい・医療・介護・予防・生活支援が身近な地域で包括的に確保される地域包括ケアシステムの構築によって展開されることとなります。

当協会は、こうした状況の中、事業を「看護の専門性と職能団体としての力を発揮し、県民の健康な生活を支えよう」のスローガンの基に、次の6つを平成28年度重点項目・重点事業として掲げ、地域特性も視野に事業を推進してまいります。

- ① 看護職が働き続けられる職場環境づくりの推進
- ② 安全で安心な専門性の高い看護を提供するための教育の充実
- ③ 地域包括ケアシステムの構築の推進
- ④ 少子超高齢社会（2025年）を見据えた看護職の育成・確保
- ⑤ 統括的役割を担う保健師の配置の推進と系統的な人材育成
- ⑥ 妊娠・分娩・育児における安全・安心な助産ケアの確保

また、今年度を初年度とする「公益社団法人千葉県看護協会第4次看護職定着・確保推進計画」を策定いたしました。この計画策定の背景は、2025年を見据え県が実施した「医師・看護職員長期需要調査」の結果では、将来の看護職不足数は、これまでの想定をはるかに超えた1万5千人強でした。県と連携・協働しながら看護職の定着・確保に努めてきましたが、依然として厳しい状況が続いております。これらの課題にこれまでの「第3次計画」を検証した上で、県の「千葉県保健医療計画」や「医療介護総合確保推進法に基づく千葉県計画」との整合性を図るとともに、有識者で構成する「看護職定着・確保対策協議会」のご意見を頂きながら、より実情に合った形で策定したものです。

今後は、本計画に基づき、各種事業を展開し「質の高い医療・看護を提供するため、看護職が働き続けられる環境づくりを推進」していくことにより、一層の看護職の定着・確保を図ってまいります。

この一年の事業の取組の詳細については、協会の設置目的・役割である「看護職の資質の向上を図り、看護職が医療の担い手として誇りを持ち、安心して働き続けられる環境づくりと地域のニーズに応える保健・医療・福祉活動を推進することにより、看護を通じて県民の健康な生活の実現に貢献します」を基本として、定款に定める7つの事業に取組んだ結果と、また、28年度事業計画について、報告させていただきます。

本年度は、当協会が公益社団法人となって5年目という区切りの年に入ります。上記に掲げた計画を『看護職が生き生きと心豊かに働き続けられる』ことを最大目標にして、会員の皆さんへの支援、県民のニーズに的確に応えられる職能団体として、さらなる向上と会員の拡大や政策提言に努めてまいります。

今年度も会員の皆様の更なるご協力とご支援の後押しをいただきつつ、事業を推進してまいります。

どうぞよろしく願いいたします。

平成28年度 公益社団法人千葉県看護協会定時総会 プログラム

日 時 平成28年6月22日（水）

9：30～16：00

場 所 ホテルポートプラザちば

- 8：50 受 付
- 9：25 オリエンテーション
- 9：30 開 会
会長挨拶
公益社団法人千葉県看護協会会長表彰
公益社団法人千葉県看護協会会長表彰受賞者謝辞
第34回千葉県看護研究学会優秀論文表彰
各受賞者紹介
叙勲
厚生労働大臣表彰
千葉県看護功労者知事表彰
日本看護協会会長表彰
来賓祝辞・祝電披露
- 10：10 議長団・議事録署名人選出
- 10：20 審議事項
第1号議案 平成27年度 事業報告及び決算報告並びに監査報告について
第2号議案 平成28年度 役員及び推薦委員の選出について
第3号議案 公益社団法人千葉県看護協会入会及び退会規定の改正について
第4号議案 平成29年度 公益社団法人日本看護協会通常総会
代議員・予備代議員の選出について
- 11：20 選 挙 平成28年度 改選役員及び推薦委員の選出
- 11：50 一 休憩（昼食） 一
- 12：40 報告事項 ・平成28年度 千葉県看護協会事業計画・予算等について
・平成27年度 理事会、職能委員会、常任委員会等報告について
- 14：00 平成28年度改選にかかる役員・推薦委員の選挙結果報告及び承認について
- 14：15 新旧役員・委員の紹介（旧役員等挨拶）
- 14：30 「優しさを伝えるケア技術：ユマニチュード®」
講 師 独立行政法人国立病院機構東京医療センター
総合内科病棟副看護師長 林 紗美 氏
同所属看護師 ユマニチュードアシスタント 東郷千鶴 氏
座 長 公益社団法人千葉県看護協会 理事 石井久美子
- 16：00 閉 会

第1号議案 公益社団法人千葉県看護協会
平成27年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について

平成27年度事業報告

項目	実施計画（新規事業：太ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
① 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	1. 生涯教育 (1)生涯教育(51コース) ①資格修得教育 8コース ・医療安全管理者養成研修 ・認定看護管理者制度教育課程 ファースト・セカンドレベル 教育課程 ・心肺蘇生法トレーニング(BLS) ・教員養成講習会 ・保健師助産師看護師実習指導者 講習会（特定分野） ・実習指導者講習会 ・訪問看護師養成講習会 ②ステップアップ研修 21コース ・段階別ステップアップ研修 (新人看護職員研修、2年目、管理者等) ・領域別ステップアップ研修 (がん、感染、認知症、災害等) ③看護実践コース 22コース ・地域包括ケアシステムの中の 看護活動 ・エンドオブライフケア(ELNEC-J)等	1. 生涯教育 (1)生涯教育(51コース) ①資格修得教育 8コース 11回 298日 638名 ・医療安全管理者養成研修(9/9、9/11～9/17、10/30) 1コース 1回 7日 120名 ・認定看護管理者教育課程 ファーストレベル教育課程(6/12～7/28) 1コース 1回 28日 95名 セカンドレベル教育課程(9/4～11/27) 1コース 1回 38日 34名 ・心肺蘇生法トレーニング(BLS) 1コース 4回 4日 239名 ・教員養成講習会(4/21～1/29) 1コース 1回 164日 18名 ・保健師助産師看護師実習指導者講習会(特定分野)(1/6～2/4) 1コース 1回 7日 37名 ・実習指導者講習会(10/9～12/14) 1コース 1回 44日 63名 ・訪問看護師養成講習会(再掲) (1コース) 1回 3日 32名 ②ステップアップ研修 21コース 42回 112日 4,462名 ・段階別ステップアップ研修(新人看護職員研修、2年目、管理者等) 11コース 30回 84日 3,215名 ・領域別ステップアップ研修(がん、感染、認知症、災害、看護研究等) 10コース 12回 23日 1,247名 ③看護実践コース 22コース 26回 41日 2,379名 ・地域包括ケアシステムの中の看護活動 1コース 1回 3日 114名 ・エンドオブライフケア(ELNEC-J)等 1コース 2回 4日 118名 ・助産実践能力強化支援事業(院内助産推進のためのスキルアップ研修) 1コース 1回 2日 24名 ④公開講座 ・千葉県教員養成講習会 公開講座 3回 3日 70名
	(2)千葉県委託事業（再掲） ①新人看護師研修 ②新人助産師研修 ③実地指導者研修 ④新人看護職員研修責任者・教育担当者研修 ⑤教員養成講習会 ⑥実習指導者講習会 ⑦保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野） ⑧介護職員等対象の喀痰吸引等に関する指導者研修	(2)千葉県委託事業（再掲） ①新人看護師研修 ②新人助産師研修 ③実地指導者研修 ④新人看護職員研修責任者・教育担当者研修 ⑤教員養成講習会 ⑥実習指導者講習会 ⑦保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野） ⑧介護職員等対象の喀痰吸引等に関する指導者研修
	2. 助産師出向支援 (1)平成28年度助産師出向支援事業実施 に関わる事前実態調査 (2)助産師出向支援システム事業の 啓発普及活動	2. 助産師出向支援 (1)平成28年度助産師出向支援事業実施に関わる事前実態調査 調査日：27年9月16日～9月30日 対象：190施設中109施設回収 回収率57.4% 調査結果：出向元希望施設数 3（病院3、診療所0） 出向先（受入）希望施設数 18（病院8、診療所10） (2)助産師出向支援システム事業の啓発普及活動 「助産師出向支援システム&クロックミツレベルⅢ認証制度における講演会」(8/23)40名
3. 千葉県看護研究学会 (1)第34回千葉県看護研究学会 日時 平成28年2月26日(金) 場所 アパホテル&リゾート <東京ベイ幕張ホール>	3. 千葉県看護研究学会 (1)第34回千葉県看護研究学会 日時：平成28年2月26日(金) 場所：アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張ホール> テーマ：「想いをかたちに 看護で未来につなげる」 内容：特別講演「専門職としてきらきら輝くために～想いやりの心を伝えることば術～」 講師：現代礼法研究所 代表、 NPO法人マナー教育サポート協会 理事長 岩下宣子 ミニレクチャー「看護実践を伝えたい(2) ～伝わるプレゼンテーションのコツ～」 順天堂大学医療看護学部 准教授 島田 広美 一般演題 47演題(口演 示説) 看護研究支援(相談支援、文献検索) 参加者：479名(一般参加者432名に加え関係者等47名)	
(2)看護研究学会への取り組み支援(再掲)	(2)看護研究学会への取り組み支援(再掲) 看護研究Ⅰ－初めて取り組む看護研究－ 1回 3日 87名 看護研究Ⅱ－研究論文を完成させる－ 1回 2日 73名	

項目	実施計画（新規事業：太ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
① 教育・研修等に関する事業の向上に関する事業	<p>4. 図書室の管理運営 (1)図書室の管理運営</p> <p>(2)資料・文献検索・レファレンス</p> <p>5. 委員会の開催 (1)事業運営のための委員会の開催 ①教育委員会年 6回 ②第34回千葉県看護研究学会実行委員会 年8回 ③認定看護管理者教育課程運営委員会 年4回</p>	<p>4. 図書室の管理運営 (1)図書室の管理運営 購入図書 45冊、寄贈図書 91冊、購入雑誌 31冊 寄贈雑誌 10冊 (2)資料・文献検索・レファレンス 文献検索等相談件数 109件、文献複写申込件数 7件、HP図書室専用ページアクセス件数 4,629件 医中誌Webログイン回数 328回</p> <p>5. 委員会の開催 (1)事業運営のための委員会の開催 ①教育委員会 5回(7/30、9/17、10/22、11/19、28/1/21) ②第34回千葉県看護研究学会実行委員会 5回(8/5、9/16、11/19、28/1/18、3/22) ③認定看護管理者教育課程運営委員会 3回(7/6、9/3、28/1/15)</p>
② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等に関する事業	<p>1. 第3次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進 (1)第3次千葉県看護職定着確保対策推進計画の数値目標評価 (2)第4次千葉県看護職定着確保対策推進計画の策定 (3)看護職定着・確保対策協議会の開催 (4)看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲) ①「看護ちば」、ホームページ等による広報 ②各種協会事業を通じた普及 (5)労働環境改善委員会の開催 年6回</p> <p>2. 看護職の労働環境の向上 (1)ワーク・ライフ・バランスの推進 ①WLB推進部会の開催 年5回 ②WLBワークショップ ・事前研修会の開催 ・WLBワークショップの開催 6施設 既取り組み施設21施設 ・WLBワークショップ、フォローアップワークショップの開催 ③評価会議の開催(取組3年目施設) (2)千葉県医療勤務環境改善支援センター(千葉県との連携)</p> <p>3. 看護進路相談事業 (1)出前授業(いのちの大切さ教育) (2)ふれあい看護体験事業 (3)進路相談事業</p> <p>4. ナースセンター事業(千葉県委託) (1)看護職の定着・確保に係る実態調査 ①看護職の定着確保動向調査 ②看護職の再就業者実態調査 (2)看護職の無料職業紹介 ・第5次ナースセンターコンピュータシステム(NCCS)運用開始(5年間) (3)届出制度 ①届出制度の運用 ②届出制導入前のナースセンターの新たな役割検討委員会 2回程度</p>	<p>1. 第3次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進 (1)第3次千葉県看護職定着確保対策推進計画の数値目標評価 (2)第4次千葉県看護職定着確保推進計画の策定 看護職定着確保対策協議会作業部会開催 1回(6/4)、2回(9/7) (3)看護職定着・確保対策協議会の開催(2/24)(委員9名、事務局8名) (4)看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲) ①「看護ちば」、ホームページ等による広報 ②各種協会事業を通じた普及 (5)労働環境改善委員会の開催 6回(7/21、10/20、11/17、12/15、2/16、3/15)</p> <p>2. 看護職の労働環境の向上 (1)ワーク・ライフ・バランスの推進 ①WLB推進部会の開催 5回(9/11、10/8、11/12、12/15、1/29) ②WLBワークショップ ・事前研修会の開催(7/30 新規6施設 参加者22名) ・WLBワークショップの開催(参加施設：千葉中央病院(かちん)、帝京大学ちば総合医療センター、佐倉厚生園病院、小見川総合病院、千葉徳洲会病院、日医大千葉北総病院) 日時：10月7日(水)、8日(木) 10:00～16:00(参加者 7日55名、8日57名) 内容：講演、ワークショップ(アクションプランの作成) ・フォローアップワークショップの開催(1/29 参加者77名) ③取組み3年目評価会議の開催(12/15 参加者33名) (2)千葉県医療勤務環境改善支援センター(千葉県との連携) 訪問支援：26回 電話相談：67件</p> <p>3. 看護進路相談事業 (1)出前授業(いのちの大切さ教育) 目的：小学校・中学校・高等学校に看護職が出向いて生徒にいのちの大切さや看護について聞く機会を提供する 内容：いのちの大切さについて、看護について等 実施数：23校(高校9校 中学校14校) 参加者：2,654名 (2)ふれあい看護体験事業 目的：高校生が看護を実践している場面の見学や体験を通して看護を実感することにより、看護について関心や理解を深めてもらう 協力施設：91施設、実施施設：65施設 参加者：900名(小学生5名 中学生4名 高校生876名 社会人15名) (3)進路相談事業 進路相談：84名(高校生4名、一般45名、教師7名、保護者18名、その他10名)(面接、電話、メール、郵送、FAX含む)</p> <p>4. ナースセンター事業(千葉県委託) (1)看護職の定着・確保に係る実態調査 ①看護職の定着確保動向調査 対象：ア 看護管理者 284施設(回答数169施設・回答率59.5%) イ 未就業求職者 130名(回答数59名・回答率45.4%) ウ フレッシュセミナー受講者 1,281名(回答数1,179名・回答率92%) 調査時期：ア 看護管理者 イ 未就業求職者 平成27年10月1日～10月15日 ウ フレッシュセミナー受講者 平成27年10月6、7、8、9、13、14、15、19、17、20、21、22日 調査結果：・離職率 常勤看護職員 11.7% 新卒看護職員 7.8% ・離職理由 第1位：人間関係 第2位(同率)：転居 第2位(同率)：結婚 ②看護職の再就業者実態調査 対象：平成26年度千葉県ナースセンター登録の再就業者のうち千葉県在住、かつ臨時雇用にて就業した者を除く 131名 調査時期：平成27年9月15日～10月6日 調査結果：・就職時の就業状況：未就業(39.2%)、就業(転職)(60.8%) ・未就業者(病院28.6%、診療所28.6%)、就業(転職)(病院32.1%、診療所14.3%) ②看護職の無料職業紹介 ・第5次ナースセンターコンピュータシステム(NCCS)運用開始(4/13開始) e ナースセンター利用者数：11,283名 新規求人数：1,741名 新規受付求職登録者数：922名 就職者数：186名 ・第5次NCCS意見交換会(南関東)参加(5/27) (3)届出制度 ①届出制度の運用(10/1開始) ②離職看護師等の届出制度推進検討会 (委員 看護代表3名、行政・協会各1名) 1回(5/15)、2回(8/5)、3回(11/18)</p>

項目	実施計画（新規事業：太ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
<p>② 看護師等の労働環境等の改善 就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業</p>	<p>(4)未就業看護職の就業支援 ①看護職再就業講習会</p> <p>②ハローワークにおける就業相談 各1回/月 成田・船橋拡充</p> <p>③看護基礎技術講習会 ④訪問看護基礎研修会 半日コース 一日コース</p> <p>⑤合同就職説明会の開催</p> <p>⑥看護職への求人情報の提供</p> <p>⑦サテライト事業の推進 ・ハローワークと連携した相談ブースの設置(再掲) ・合同就職説明会の開催(再掲) ・再就業支援のための交流会の開催2回/年 (1回はナースセンター、1回は地区にて開催)</p> <p>(5)ナースセンター事業の広報</p> <p>(6)ナースセンター運営委員会の開催 年1回</p> <p>(7)関係機関との連携 (日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等)</p> <p>(8)「看護の日」に知事表彰授与を県と共催</p> <p>(9)看護進路相談事業(再掲)</p> <p>(10)ナースセンターの維持管理</p> <p>5. 医療・看護における安全対策 (1)医療・看護に関する相談支援、情報提供</p> <p>(2)医療安全推進週間の推進 ①医療安全大会の開催 ・日 時 平成27年11月8日(日) ・場 所 幕張メッセ国際会議場</p> <p>②医療安全推進の普及啓発 ・医療安全に関する標語の募集</p> <p>・ポスター等による普及啓発</p> <p>(3)医療安全管理者の育成 ①医療安全管理者養成研修会(再掲) ②医療安全担当者交流会</p>	<p>(4)未就業看護職の就業支援 ①看護職再就業講習会 参加者3名(山王病院8/18～8/22 君津中央病院 9/3～9/4 佐倉厚生園病院10/1.2 5～9) 3名就業(うち1名受講施設外の病院)</p> <p>②ハローワークにおける就業相談72回 参加者143名、就業者16名(千葉2回/月 31名 松戸2回/月32名 木更津1回/月18名 成田1回/月22名 船橋1回/月40名)</p> <p>③看護基礎技術講習会 31回 参加者51名(就業者16名 就業率31.4%)</p> <p>④訪問看護基礎研修会 半日コース 年6回：6/20(船橋)15名・7/3(木更津)6名・9/5(鴨川)5名・10/17(市原)5名・12/12(香取)6名・1/23(流山)6名 一日コース 年2回：7/27(看護会館)10名・2/2(看護会館)22名(受講者合計：75名)</p> <p>⑤合同就職説明会の開催 求職者 計47名、就業者5名 ①東葛地区：9/3 参加求職者9名 参加施設17施設 ②安房地区：10/22 参加求職者7名 参加施設6施設 ③利根地区：11/26 参加求職者7名 参加施設6施設 ④長夷地区：11/19 参加求職者14名 参加施設10施設 ⑤山武地区：2/25 参加求職者10名 参加施設10施設</p> <p>⑥看護職への求人情報の提供(計2回) 発行日：第1回 平成27年11月25日 第2回 平成28年2月22日</p> <p>⑦サテライト事業の推進 ・ハローワークと連携した相談ブースの設置(再掲) ・合同就職説明会の開催(再掲) ・再就業支援のための交流会の開催 2回/年内容：看護技術講習会 交流会 (①1/27 会場 ハローワーク松戸 参加者3名 ②2/17 会場 ナースセンター参加者5名)</p> <p>(5)ナースセンター事業の広報 ・協会機関誌、協会ホームページ等 ・看護職等への届出制度に係る広報チラシ「届出物語」配布：県内病院、千葉県医師会、各市町村健康福祉センター(保健所)、ハローワーク等各関係機関</p> <p>(6)ナースセンター運営委員会の開催 年1回 平成27年12月16日(委員11名、事務局7名出席)</p> <p>(7)関係機関との連携(日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等) ①ナースセンター事業担当者会議 年1回(8/10) ②都道府県ナースセンター相談員研修 年1回(9/4) ③千葉県福祉人材センター主催 福祉のしごと・inちば 年2回(7/26 11/14) ④千葉公共職業安定所主催 「福祉人材就職面接会」参加(11/12) ⑤ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議(第1回7/24 第2回2/12) 構成団体：県、千葉労働局、福祉人材コーナー設置のハローワーク、千葉県看護協会</p> <p>(8)「看護の日」に知事表彰授与を県と共催</p> <p>(9)看護進路相談事業(再掲)</p> <p>(10)ナースセンターの維持管理</p> <p>5. 医療・看護における安全対策 (1)医療・看護に関する相談支援、情報提供 ・相談件数：2件(相談内容：①医療事故後(誤刺)の上司の対応に不安がある。 ②患者に暴行を受け、復帰する上で不安がある。) ・顧問弁護士による看護士への情報提供(内容：4月号 転落事故、7月号経営栄養チーフの誤挿入、10月号 看護中の骨折事故と看護士の注意義務違反の有無、1月号 ベッドシーツ交換時に患者を転倒させた看護師に業務上過失傷害罪の成立が認められた事例) 看護士の「医療安全シリーズ」抜粋冊子の設置およびホームページへの掲載 ・ホームページ等による最新情報の提供 ・院内事故調査に関わる専門家リスト(日本看護協会作成)への掲載者を推薦</p> <p>(2)医療安全推進週間の推進 ①医療安全大会の開催 ・日 時：11月8日(日) 10：30～16：20 ・場 所：幕張メッセ国際会議場 ・テーマ：多職種連携で前進する医療安全 ～医療事故調査制度の法制化で求められるもの～ ・内 容：医療安全に関する標語の表彰式 優秀賞1作品、佳作2作品 講演1 「医療事故調査制度の法制化で求められるもの ～その構造と背景～」 渡邊 両治(東京都済生会中央病院 クリニカルオリティセンター 医療安全対策室 クオリティマネジャー) 報告 「医療事故調査制度の院内体制整備について」 相馬 孝博(千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部 部長 教授) 講演2 「医療の根幹はコミュニケーションにあり ～職場を活性化し医療安全を明るく推進しよう!～」 Wマコト(元吉本芸人、現放送作家) 医療安全対策関連企業の展示・体験コーナー テーマ：最新の医療資機材展示紹介(18社) ・参加者：634名(一般参加者：看護職439名、他職種87名、関係者：108名)</p> <p>②医療安全推進の普及啓発 ・医療安全に関する標語の募集 応募総数：864作品 優秀賞：「多職種が 手をとり育てる 安全文化」柏市立柏病院 検査科 佳作：「医療事故 未然に防ぐ チームの力」公立長生病院 森井 寿子 「多職種で、守る安全、防ぐ事故」東邦大学医療センター佐倉病院 徳留 彰子</p> <p>・ポスター等による普及啓発 優秀標語と優秀賞受賞者の施設職員の写真を組み合わせたポスター4500枚を作成し、県内病院及び会員施設等へ配布</p> <p>(3)医療安全管理者の育成 ①医療安全管理者養成研修会9月9・10・11・14・15・16・17日(9/30悪天候にて10/30に変更)(再掲) ②医療安全担当者交流会 ・日 時：平成28年1月30日(土) 10：00～16：00 ・場 所：千葉県看護会館 ・内 容：講演① 多職種で取り組む Medikation エラーの防止 ～周期を中心に～ 柴田 みづほ(千葉県病院薬剤師会：千葉大学医学部附属病院) 講演②輸液ポンプ・シリンジポンプに関する院内教育について 三浦 國男(千葉県臨床工学技士会：玄々堂君津病院) 近藤 敏敬(千葉県臨床工学技士会：亀田総合病院)他5名</p>

項目	実施計画（新規事業：太ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
② 就業促進等の労働環境等の改善 人材確保・定着に関する事業	(4)関係機関等との連携促進 (5)医療安全委員会の開催 年6回	講演③医療に起因する予期せぬ死亡又は死産が発生した際の対応 慶越 真由美（日本看護協会 看護開発部 看護業務課 医療安全担当） グループワーク「医療安全担当者として活動している上での悩み、課題」 県内専従医療安全管理者(2名)ファシリテーター：医療安全委員(看護職3名)、協会員(1名) ・参加者：98名（一般参加者：専従16名、専任13名、兼任45名、その他6名、関係者：18名） (4)関係機関等との連携促進 ・医療事故調査制度に係る支援団体の連携について(8/27)千葉県医師会主催 ・医療事故調査制度説明会(8/29)一般社団法人日本医療安全調査機構主催 ・医療事故調査制度の説明会(9/5)患者・家族と医療をつなぐNPO法人架け橋主催 ・医療事故調査制度に係る説明会(9/10)関東信越厚生局主催 ・医療安全推進会議(9/17)日本看護協会主催 ・千葉県医療安全に係る研修会(1月27日)千葉県健康福祉部医療整備課主催 (5)医療安全委員会の開催 年6回(5/14、7/9、9/3、10/8、12/3、2/4)
③ 訪問看護の推進に関する事業	1. 訪問看護推進事業（千葉県委託） (1)訪問看護推進協議会の開催 (2)訪問看護に関する総合相談の実施 (3)訪問看護の普及啓発事業 ①訪問看護サービスの普及 ・リーフレットの作成 ・普及活動 2. 訪問看護推進事業（協会単独事業） (1)訪問看護師人材育成事業 ①「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 ②訪問看護師指導者研修会の開催 ③訪問看護師養成講習会「訪問看護研修ステップ1」の開催 (2)訪問看護ステーションIT化等推進事業 ①「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」導入支援事業 ・「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の普及 ・看護の質評価システムの実装 ・看護の質評価システムの評価会議の開催 ・「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の導入支援 ②「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」オープン化事業 ・経営診断シミュレーションシステムの普及 (3)訪問看護の普及啓発事業 ①看看連携フォーラム（印旛地区） ②看看ケアマネ連携フォーラム（千葉地区）	1. 訪問看護推進事業（千葉県委託） (1)訪問看護推進協議会の開催（年2回開催・委員14名） ・1回目 日時：平成27年9月14日(月) 18：30～20：00 内容：①訪問看護推進事業進捗状況について ②訪問看護推進に関する事業の方向性について ・2回目 日時：平成28年3月16日(水) 16：00～17：30 内容：①平成27年度事業報告及び評価について ②平成28年度事業計画について ③今後の訪問看護推進事業について (2)訪問看護に関する総合相談の実施 ・相談日：月～金 9時～17時 ・相談件数：110件(7割が訪問看護サービスに関する相談・5割が訪問看護師等の専門職からの相談) (3)訪問看護の普及啓発事業 ①訪問看護サービスの普及 ・リーフレットの作成：5000部作成 8月に「平成27年度介護報酬改定 訪問看護に関する主な改定内容」を県内病院、診療所、訪問看護ステーション等の4,703ヶ所に送付 ・普及活動：地区部会行事等で県民向けリーフレットを2,086冊、専門職向けリーフレットを342冊配布 2. 訪問看護推進事業（協会単独事業） (1)訪問看護師人材育成事業 ①「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 ・平成27年度：新卒者 1名 チャレンジ看護師 7名(支援者累計(H24～)新卒者：6名 チャレンジ看護師：15名/9事業所) ・振り返りカンファレンス31回・学習支援者会議21回・事例検討会4回・技術演習6回・評価面接10回 ・普及活動：看護ちば掲載(114号・115号) 学校訪問：淑徳大学就職説明会(4/25・平成28年2/20)千葉大学看護学部進路ガイダンス(7/24) 視察等：島根県立大学学生見学(5/7)厚労省地域医療計画課・ 県立保健医療大学プログラム送付(6/1)高知県立大学視察(7/6) 全国訪問看護事業協会プログラム送付(8/25)・ 神戸北須磨訪問看護リハビリセンタープログラム送付(10/7) ②訪問看護師指導者研修会の開催 ・開催：平成28年3月19日(土)、対象者：訪問看護ステーション所長・指導者 ・内容：新人訪問看護師の事業所内指導者研修会 ・講師：千葉大学大学院看護学研究科 教授 吉本 照子/准教授 辻村 真由子 ・ファシリテーター：さつき台訪問看護ステーション 所長 相原 鶴代 訪問看護ステーションひとみ 所長 小宮山日登美 ・受講生：29名 ③訪問看護師養成講習会「訪問看護研修ステップ1」の開催 ・内容：7/1開講式、講義1「訪問看護展開論」講師 緑が丘訪問看護ステーション所長 山崎 潤子 7/1～11/30 訪問看護eラーニング受講 11/14 講義2「訪問看護におけるフィジカルアセスメント」講師 まくはり訪問看護ステーション所長 佐藤 富子 船橋二和病院 副総看護師長 佐々木ゆかり 12/1～1/29 訪問看護ステーション実習(2日間) 2/16 講義3「在宅ターミナルケア」講師 カナ訪問看護ステーション所長 柴崎 ゆかり・修了報告会・閉講式 ・受講生：32名(訪問看護ステーション15名・病院15名・老健1名・教育機関1名)・全課程修了者30名 (2)訪問看護ステーションIT化等推進事業 ①「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」導入支援事業 ・「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の普及：看護ちば掲載(116号)・ソフト導入事業所 15事業所 ・看護の質評価システムの実装：平成27年9月 ・看護の質評価システムの評価会議の開催：平成28年1月19日(水) 18：00～20：00 出席者11名 ・「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の導入支援：ソフト導入に関する問い合わせ3件・iPad貸出 1事業所 ②「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」オープン化事業：ソフト導入に関する問い合わせ3件・iPad貸出 1事業所 ・経営診断シミュレーションシステムの普及：看護ちば掲載(113号) 経営診断システムに関する問い合わせ1件 (3)訪問看護の普及啓発事業 ①看看連携フォーラム（印旛地区） ・日時：10月31日 場所：成田赤十字病院 ・内容：テーマ「一緒に患者さんの退院後の生活を考えませんか」 講義・グループディスカッション 「急性期病院における退院調整の取組み 訪問看護ステーションとの連携」 東邦大学医療センター佐倉病院 看護相談室長 林 弥生 「訪問看護の役割について」 コープみらい四街道訪問看護ステーション所長 福島 一美 グループディスカッション 「私の退院支援はこれで良かったの？訪問看護師に聞いてみよう」 ・対象者：印旛保健医療圏内の病院等・訪問看護ステーション在勤看護職 ・参加者：55名(講師2名・ファシリテーター6名・事務局等5名含む) ②看看ケアマネ連携フォーラム（千葉地区） ・日時：9月12日 場所：千葉県看護会館 ・内容：テーマ「一緒に利用者さんの生活を考えませんか」グループディスカッション ・対象者：千葉保健医療圏内の病院等・訪問看護ステーション在勤看護職・千葉保健医療圏内在勤の介護支援専門員 ・参加者：51名(ファシリテーター6名・事務局等5名含む)

項目	実施計画（新規事業：太ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
③ 訪問看護の推進に関する事業	<p>3. 関係機関との連携</p> <p>(1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携</p> <p>(2)医師会、訪問看護ステーション連絡協議会等との連携</p>	<p>3. 関係機関との連携</p> <p>(1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月8日 日本訪問看護財団主催 訪問看護サミット2015 参加 <p>(2)医師会、訪問看護ステーション連絡協議会等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県訪問看護ステーション連絡協議会との合同会議 1回目 日時：平成27年7月22日 18：00～20：00 内容：①施設看護師の質向上について ②訪問看護師確保定着について 2回目 日時：平成28年2月13日（土）10：00～12：00 内容：訪問看護推進事業の協働について
	④ 県民健康・福祉の増進に関する事業	<p>1. 「看護の日」「看護週間」事業</p> <p>(1)第25回県民が集う「看護の日」事業 【テーマ】地域で輪となりつなげる看護</p> <p>①中央行事 平成27年5月23日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場 所 7A 有明コロシアム東京ベイ幕張 ・内 容 式典、知事表彰、看護体験記表彰、講演 <p>②地区部会行事 平成27年5月16日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場 所 12地区部会が決定した場所 ・内 容 地区独自の事業（測定、体験、助産師の仕事PR、相談等） <p>③実行委員会の開催(3回)</p> <p>2. 「まちの保健室」事業</p> <p>(1)常設型の開催</p> <p>①開催場所 12地区部会が決定した場所</p> <p>(2)イベント型の積極的な開催</p> <p>3. 自殺予防対策</p> <p>(1)心の総合相談</p> <p>①専用電話・専用メールによる相談対応</p> <p>②自殺予防に関する広報</p> <p>(2)人材育成研修の開催(再掲)</p> <p>①「うつ傾向にある患者への関わり方」(再掲)</p> <p>②「職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント」(再掲)</p> <p>4. 千葉県小児救急電話相談事業</p> <p>(1)相談員の登録・管理</p> <p>(2)相談員の勤務調整</p> <p>(3)相談員研修会の開催</p>

項目	実施計画（新規事業：太ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
<p>④ 県民健康・福祉の増進に関する事業</p>	<p>(4)小児救急電話相談事業協議会への出席</p> <p>(5)千葉県小児救急電話相談事業時間延長に関する打合せへの出席</p> <p>5. 災害支援対策事業</p> <p>(1)災害支援ネットワークの強化</p> <p>①千葉県看護協会災害対策本部の設置</p> <p>②災害時における関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会及び都道府県看護協会 ・千葉県、市町村 <p>③平常時における連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内施設、日本看護協会等合同防災訓練 <p>・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加</p> <p>(2)災害に備えた支援体制の整備</p> <p>①災害支援ナースの登録促進</p> <p>②災害支援ナースの登録・管理</p>	<p>内容 第1部「小児初期救急医療研修会」</p> <p>講演Ⅰ「日常診療におけるトリアージと救急蘇生」</p> <p>講師 順天堂大学医学部附属病院 救急診療科 助手 こども救急医療センター 西山和孝</p> <p>講演Ⅱ「千葉県小児救急電話相談事業（#8000）について」</p> <p>講師 千葉県小児科医会 会長 猪股弘明</p> <p>講演Ⅲ「こんな時どうする？～小児初期救急で腎疾患を疑ったら」</p> <p>講師 千葉県こども病院 腎臓科 医長 久野正貴</p> <p>第2部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会参加報告（小児救急電話相談対応者研修）発表者 坂本 久美相談員 ・平成28年度千葉県小児救急電話相談事業体制について <p>参加者：26名（相談員18名、講師3名、医師会事務局2名、看護協会事務局3名）</p> <p><外部研修会への参加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児救急電話相談スキルアップ研修会（主催：日本小児保健協会） <p>【基礎コース】 日時：平成27年6月18日(木) 12：30～16：30</p> <p>会場：長崎ブリックホール</p> <p>内容：小児救急の電話相談の社会的な意義やスキル、受療行動へのアドバイスとともに相談者に安心を与える電話対応のあり方などの理解を目的とした講義、演習、グループワークなど</p> <p>受講者：1名（相談員歴4年）</p> <p>【実践コース】 日時：平成27年9月26日(土) 13：00～18：00 平成27年9月27日(日) 9：00～16：00</p> <p>会場：国立オリンピック記念青少年センター</p> <p>内容：自らの電話対応の傾向を理解し、相談者をエンパワーメントする相談技法の向上などを目的とするSP（模擬相談者）を用いた電話相談、実技、グループワークによる討議、講義など</p> <p>受講者：1名（相談員歴4年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児救急電話相談対応者研修（主催：厚生労働省医政局） <p>日時：平成27年12月5日(土) 10：10～17：15</p> <p>会場：(株)WOWOWコミュニケーションズ会議室（横浜みなとみらい）</p> <p>内容：小児救急電話相談の目的・役割、電話でのコミュニケーション、事例研究、ロールプレイング、アンケートからの意見交換会</p> <p>受講者：1名（相談員歴4年）</p> <p>(4)小児救急電話相談事業運営協議会への出席（10/5、2/5）</p> <p>第1回 平成27年10月5日(月) 星野会長、澤田専務、福留理事出席</p> <p>第2回 平成28年 2月5日(金) 星野会長、澤田専務、福留理事出席</p> <p>(5)千葉県小児救急電話相談事業時間延長に関する打合せへの出席</p> <p>平成27年6月2日(火) 福留理事、伊藤課長、二宮出席</p> <p>5. 災害支援対策事業</p> <p>(1)災害支援ネットワークの強化</p> <p>①千葉県看護協会災害対策本部の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成27年9月 関東・東北豪雨」における災害対策本部を設置（9/15） <p>②災害における関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会との派遣調整等の連携 ・千葉県との情報共有 <p>③平常時における連携</p> <p>ア 県内施設、日本看護協会等合同防災訓練</p> <p>11月10日(火)～11月12日(木) 日本看護協会等合同防災訓練（災害支援ナース派遣調整）</p> <p>参加施設：災害支援ナース所属施設68施設、派遣候補者95名、派遣決定者95名</p> <p>協会内にて災害対策本部設置訓練（協会内全部門参加）</p> <p>イ 九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九都県市合同防災訓練千葉県会場訓練 8月29日(土) 佐倉市城址公園 県内災害支援ナース15名参加（内、印旛地区5名） ・九都県市合同防災訓練千葉市会場訓練 8月30日(日) 千葉工業大学グラウンド 千葉地区部会看護職2名参加 ・船橋市総合防災訓練 ・8月30日(日) 船橋市消防指令センター及び市内湊町・薬園台・豊富小学校 船橋地区部会看護職18名参加 *本年度はトリアージ訓練実施 <p>ウ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定地方公共機関の指定（災害対策基本法第2条第6項）に伴う千葉県への防災に関する計画の提出（4/20） ・「千葉JRAT（仮称）の組織化に向けた検討会」への出席（6/9、9/8） ・「千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会」（名称変更）幹事会への出席（3/8） ・「千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会研修会」への出席（1/16） ・平成27年度帰宅困難者搬送受入訓練への参加（2/8） ・日本看護協会主催「平成27年度都道府県看護協会災害看護担当者会議」への出席（7/24） <p>(2)災害に備えた支援体制の整備</p> <p>①災害支援ナースの登録促進</p> <p>3月4日「災害医療と看護（実践編）」研修時に登録を勧奨</p> <p>②災害支援ナースの登録・管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害支援ナース登録者 211名（3月末現在） ・「災害支援ナース登録」実施要領の改正 6月23日付改正事項 <p>ア 登録要件（災害看護研修基礎編から実践編へ改正）</p> <p>イ 個人情報の取り扱いについて追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害支援ナースの登録更新 更新121名 ・新規会員施設49施設への「災害救護対応マニュアル」、新規登録者8名への「災害支援ナース必携マニュアル」の追加発送

項目	実施計画（新規事業：太ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
④ 県民健康・福祉の増進に関する事業	<p>③災害時の災害支援ナースの派遣調整</p> <p>④災害時必要物品の管理</p> <p>⑤災害支援ナース傷害保険加入</p> <p>(3)災害支援ナースの育成</p> <p>①災害看護研修 （基礎編・実践編）（再掲）</p> <p>②災害支援ナースフォローアップ研修</p> <p>6. 関係機関・他団体への協力</p> <p>(1)研修会等への講師紹介や派遣</p> <p>(2)行事等への参加、必要時ボランティアの派遣</p>	<p>③災害時の災害支援ナースの派遣調整 「平成27年9月 関東・東北豪雨」における災害支援ナースの派遣 *日本看護協会をとおした派遣（レベル2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣期間：9月16日(水)～10月1日(木) ・派遣人数：40施設69名 ・派遣先：常総市・つくば市・つくばみらい市の8避難所 ・活動内容：1泊2日（夜勤のみ）2名体制 <p>④災害時必要物品の管理 血圧計・聴診器・寝袋・アルファ米等の購入</p> <p>⑤災害支援ナース天災危険担保特約付国内旅行傷害保険加入 7月1日付</p> <p>(3)災害支援ナースの育成</p> <p>①災害看護研修（基礎編・実践編）（再掲） 災害医療と看護（基礎編）7/9～7/10 修了者155名 災害医療と看護（実践編）3/3～3/4 修了者60名</p> <p>②災害支援ナースフォローアップ研修 日 時：2月19日(金) 9：30～17：00 場 所：千葉県看護会館大研修室 内 容：「東日本大震災時のコーディネーター業務の実際」ほか 講師：東京医療保健大学大学院看護学研究科 准教授 石井美恵子氏 ほか 参加者：75名</p> <p>6. 関係機関・他団体への協力</p> <p>(1)研修会等への講師紹介や派遣 千葉県生涯大学校への講師派遣 7回(4/17、4/22、6/15、10/10、10/13、10/15、3/1)</p> <p>(2)行事等への参加、必要時ボランティアの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こころのふれあいフェスティバル(5/13) ・がん予防展(9/5,6) ・千葉県千葉市精神障害者ソフトバレーボール大会(9/30) ・健康ちば推進県民大会(11/21) ・こころの健康フェア2015inちば(11/26) ・地域移行支援(退院促進)セミナー(1/16)
⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	<p>1. 職能委員会(職能)</p> <p>(1)保健師職能委員会 年6回程度</p> <p>(2)助産師職能委員会 年6回程度</p> <p>(3)看護師職能委員会 年6回程度</p> <p>2. 職能集会・交流会(職能)</p> <p>(1)職能集会</p> <p>①保健師職能集会</p> <p>②助産師職能集会</p> <p>③看護師職能集会(領域Ⅰ)</p> <p>④看護師職能集会(領域Ⅱ)</p> <p>(2)各職能別交流会</p> <p>①保健師職能交流会</p> <p>②助産師職能交流会(管理者、中堅)</p>	<p>1. 職能委員会(職能)</p> <p>(1)保健師職能委員会 6回(8/18、9/18、10/20、11/24、1/6、3/16)</p> <p>(2)助産師職能委員会 6回(7/14、8/6、10/28、11/11、1/25、3/29)</p> <p>(3)看護師職能委員会 領域Ⅰ 6回(7/29、8/21、10/3、11/18、12/16、2/17) 領域Ⅱ 7回(7/29、9/10、9/11、10/8、11/5、12/3、2/4)</p> <p>2. 職能集会・交流会(職能)</p> <p>(1)職能集会</p> <p>①保健師職能集会 1回(2/13)参加者数 26名 講演「保健師に求められる看護管理の在り方」 講師 長崎県立大学副学長・看護栄養学部教授 平野かよ子氏 ワールドカフェ方式による交流(意見交換・情報交換)</p> <p>②助産師職能集会 1回(10/28)参加者数 42名 講演「分娩期のCTGモニタリングについて」 講師 千葉市立海浜病院産科統括部長 飯塚美徳氏 グループディスカッション「助産実践の質の向上に向けた今後の取り組みと課題」</p> <p>③看護師職能集会(領域Ⅰ) 1回(10/3)参加者数 72名 報告 平成26年度活動状況報告・平成27年度活動計画について 講演「看護の仕事を通して人として生きる」 講師 聖路加国際大学 教授 吉田千文氏</p> <p>④看護師職能集会(領域Ⅱ) 1回(10/8)参加者数 98名 看護師職能(領域Ⅱ)についての趣旨と今後の活動方針等の説明 講演「高齢者ケア施設における感染対策」 講師 福祉ビジネス研究所 所長 新田敦子氏 グループワーク「高齢者施設等の感染対策における看護職の役割」 ファシリテーター 職能委員</p> <p>(2)各職能別交流会</p> <p>①保健師職能交流会 1回(11/24)参加者数18名 講演「これからの健康支援活動を考える」 講師 首都大学東京 名誉教授 星旦二氏 ワールドカフェ方式による交流(意見交換・情報交換)</p> <p>②助産師職能交流会 2回 ア. 産科管理者交流会(12/2)参加者数 31名 講演「助産ケアと倫理」 講師 東京医科歯科大学医学部附属病院外来副部長 小笹由香氏 グループディスカッション 「LoMiP及び院内助産、助産師出向支援システムの推進に向けた今後の取り組みと課題」 「混合病棟における現状と課題：混合ユニットマネジメント推進に向けて」グループディスカッション イ. 中堅助産師交流会(1/25)参加者数 30名 講演「出血時の対応」 講師 千葉市立海浜病院 産科統括部長 飯塚美徳氏 グループディスカッション 「産科における危機管理に対する現状と課題」</p>

項目	実施計画（新規事業：太ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	③看護師職能交流会(領域Ⅰ) ④看護師職能交流会(領域Ⅱ) ⑤准看護師交流会	③看護師職能交流会(領域Ⅰ) 1回(11/28) 参加者数 74名 講演 「入院前から退院後まで患者をコーディネートするPFMシステムとは」 講師 東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護部長 柳澤美津代氏 グループワーク・ディスカッション 「退院支援・退院調整の実際を学び、これからの自施設の取り組みを考える」 ファシリテーター 職能委員 ④看護師職能交流会(領域Ⅱ) 1回(12/3) 参加者数36名 協会役員挨拶(看護の情勢と協会の取り組みについて、看護領域Ⅱに期待すること) 講演 「高齢者ケア施設等の看取りケアにおける看護職の役割～看取りケアを通して～」 講師 松戸ニッセイエデンの園 老年看護専門看護師 松本佐知子氏 グループワーク 「高齢者ケア施設等の看取りケアにおける看護職の役割」 ファシリテーター 職能委員 ⑤准看護師交流会 1回(1/23) 出席者数 47名 講演 「高齢者における感染対策ケア」 ～注意しなければならない感染予防対策～ 講師 船橋市立医療センター 感染管理看護師 池崎陽子氏 学校説明 ・千葉県立野田看護専門学校 第二看護学科(全日制) 第二看護学科 学科長 新築こゆき先生 ・東京衛生学園専門学校 看護学科通信 看護学科通信制 副学長 秋山千草先生 ・放送大学学園 学務部連携教育課 課長補佐 相場俊秀先生 質疑応答(学校説明)・まとめ
	1. 県行政等への要望・意見具申(看護制度) (1)県の翌年度予算等に関する要望書の提出 (2)県議会等の活動への協力依頼等 (3)千葉県医療審議会等への参画 2. 看護関連施策に対する提言(看護制度) (1)国・日本看護協会等の要望・提言 (2)資格認定制度の推進 ①専門看護師、認定看護師への支援 ②専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 ③特定行為に係る看護師の研修制度への支援	1. 県行政等への要望・意見具申(看護制度) (1)県の翌年度予算等に関する要望書の提出(9/2) ・要望事項：①2025年を見据えた看護職の定着・確保対策の推進、②地域包括ケアシステムの構築、③安全・安心な出産環境の確保、④保健師の資質の向上と新たな活動方策の確立、⑤医療安全対策の推進 ・看護ちは10月1日号にて報告掲載 (2)県議会等の活動への協力依頼等(10/6、10/7) (3)千葉県医療審議会等への参画 千葉県・市町村等関係会議：69回、関係団体等会議：75回 2. 看護関連施策に対する提言(看護制度) (1)国・日本看護協会等の要望・提言 (2)資格認定制度の推進 ①専門看護師、認定看護師への支援 ②専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 ③特定行為に係る看護師の研修制度への支援
⑥ 並びに訪問看護の実施に関する事業	1. 訪問看護事業 (1)質の高い訪問看護の提供 (2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (3)24時間、緊急時の訪問看護体制の充実 2. 居宅介護支援事業 (1)質の高いケアプランの提供 (2)地域のネットワークづくり (3)利用者の申請代行 3. 訪問看護の普及 (1)訪問看護研修生の受入れ (2)看護学生実習の受入れ 4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備 (1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (2)ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回 (3)ちば訪問看護ステーション運営会議 年3回	1. 訪問看護事業 (1)質の高い訪問看護の提供 利用者延べ 807名、月平均67名(3月末現在常勤看護換算 5.75人) 訪問看護延べ 5,280回、月平均440回 (2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 在宅における看取り12名、月平均1名 人工呼吸器装着患者5名、小児6名 (3)24時間、緊急時の訪問看護体制の充実 緊急訪問延べ 245回、月平均20回(うち休日110回) 休日訪問 延べ271回 2. 居宅介護支援事業 (1)質の高いケアプランの提供 ケアプラン作成 628名、月平均延べ 52名、(3月末現在常勤看護換算 1人) (2)地域のネットワークづくり 居宅サービス事業者との連携の担当者会議 月平均3回 (3)利用者の申請代行 8名 3. 訪問看護の普及 (1)訪問看護研修生の受入れ (2)看護学生実習の受入れ 26名(7校)延べ56日間 (3)研修生の受け入れ 6名(4施設)延べ8日間 4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備 (1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (2)ちば訪問看護ステーション定例会議 11回 (3)ちば訪問看護ステーション運営会議 6回 (4/23、6/25、9/17、11/17、1/13、3/2)

項目	実施計画（新規事業：太ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
⑥ 並びに訪問看護の実施に関する事業	<p>5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携 (1) 医療機関、介護支援専門員等との連携 ① 地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加</p> <p>(2) 利用者確保のための広報活動</p> <p>6. 職員の資質の向上 (1) 事例検討会 (2) 研修会・学会等への参加 (3) 地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)</p>	<p>5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携 (1) 医療機関、介護支援専門員等との連携 ① 地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加 訪問看護ステーション連絡協議会への参加 3回 居宅介護連絡協議会に参加 1回 地域の行事、交流会への参加 5回 指定地域の開業医、病院、ケアマネ等連絡協議会へ出席 2回</p> <p>(2) 利用者確保のための広報活動</p> <p>6. 職員の資質の向上 (1) 事例検討会 月1回 (2) 研修会・学会等への参加 10名(延べ12日間)新人リフレッシュ研修等 (3) 地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)</p>
⑦ その他、この法人が目的を達成するために必要な事業	<p>1. 地区部会活動事業 (1) 役員会 49回 (2) 連絡会 13回 (3) 研修会 17回 (4) まちの保健室の開催(再掲) (5) 「看護の日」「看護週間」事業(再掲) (6) 看護職定着確保対策の推進 (7) その他、地域固有の事業 (8) 会計にかかる説明会(4/23)</p>	<p>1. 地区部会活動事業 (1) 役員会 87回 (2) 連絡会 24回 (3) 研修会 32回 (4) まちの保健室の開催(再掲) (5) 「看護の日」「看護週間」事業(再掲) (6) 看護職定着確保対策の推進 合同就職説明会(東葛・利根・山武・長夷・安房)(再掲) (7) その他、地域固有の事業 ① 印旛地区：公開研修 参加者21名、実習施設：日本医科大学千葉北総病院、聖隷佐倉市民病院・佐倉厚生園病院 ② 安房地区：高校進路ガイダンス 1校 参加者：148名 (8) 会計にかかる説明会(4/23)</p>
	<p>1. 情報提供、広報事業 (1) 千葉県看護協会の広報 ① 機関誌「看護ちば」の発行 年4回 ② ホームページの充実 ③ 協会パンフレット等の活用 (2) 広報委員会の開催 年5回</p>	<p>1. 情報提供、広報事業 (1) 千葉県看護協会の広報 ① 機関誌「看護ちば」の発行 4回(4月、7月、10月、1月)各27,000部、総特集号の発行1回(5月) ② ホームページの充実 ・アクセス件数：207,442件(うちスマートフォンからの検索 46,730件 全体の23%) ③ 協会パンフレット等の活用 (2) 広報委員会の開催 6回(7/17、9/18、10/16、11/13、1/22、3/25)</p>
	<p>1. 販売手数料及び出展広告料に関する事業 (1) 会員福利厚生サービスの実施・広報</p>	<p>1. 販売手数料及び出展広告料に関する事業 (1) 会員福利厚生サービスの実施・広報 家庭常備薬等の斡旋(大日本商事取扱い)2回(9月実施：実績326件、1月実施：実績214件)</p>
	<p>1. 会員サービス・福祉の充実等 (1) 会員への相談支援、情報提供 (2) 看護職の表彰 (3) 慶弔、病気見舞い (4) 災害時の支援 (5) 会員福利厚生サービスの実施・広報</p>	<p>1. 会員サービス・福祉の充実等 (1) 会員への相談支援、情報提供 (2) 看護職の表彰 平成27年度千葉県看護協会会長表彰対象者(228名) (3) 慶弔、病気見舞い(3件) (4) 災害時の支援(実績なし) (5) 会員福利厚生サービスの実施・広報、 ・クラブオフダイジェスト版・チラシ等の配布及び送付による案内 (平成27年4月～3月クラブオフ利用件数 3,419件)</p>
⑦ その他、この法人が目的を達成するために必要な事業	<p>1. 組織運営に関する会議等の開催 (1) 総会 年1回 ① 日時：平成27年6月18日(木) ② 場所：ホテルポートプラザちば ③ 議題</p> <p>(2) 理事会 年6回程度 (3) 施設等会員代表者会 年2回</p>	<p>1. 組織運営に関する会議等の開催 (1) 総会 1回 ① 日時：6月18日(木) ② 場所：ホテルポートプラザちば 参加者353名(一般会員333名、役員20名)(委任状 20,543名) ③ 議題 ・平成26年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について ・定款変更について(看護師職能委員会の領域区分に伴う職能理事定数の変更) ・平成27年度役員及び推薦委員の選出について ・会員以外の者からの監事の選出について ・千葉県看護協会スローガンについて ・平成28年度(公社)日本看護協会通常総会代議員・予備代議員の選出について</p> <p>(2) 理事会 年7回(5/8、6/18、7/16、9/10、12/10、2/4、3/10) (3) 施設等会員代表者会 2回 第1回目(7/16)ホテルポートプラザちば 参加者数165名 表彰等 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業 (カンゴサウルス賞表彰、看護職ワーク・ライフ・バランス事業修了証交付) 議事 ・平成27年度千葉県看護協会の事業及び運営について ・定款変更等(看護師職能委員会の領域による区分)について ・千葉県知事への要望について 講話 「ナースセンターへの届出制度について」(公社)千葉県看護協会常任理事 福留浩子 講演 「特定行為に係る看護師の研修制度」に対する日本看護協会の考え方と活動方針について 講師 公益社団法人日本看護協会 副会長 真田弘美 氏</p> <p>第2回目(3/23)ホテルポートプラザちば 参加者数200名 議事 ・平成27年度事業の進捗状況について ・平成28年度事業の方針等について(重点事項・重点事業) ・平成29年度からの入会手続きの変更について 講演 「平成28年度診療報酬改定の概要と看護管理者の役割」 講師 公益社団法人日本看護協会 常任理事 福井トシ子氏 座長 千葉県看護協会 副会長 石渡祥子</p>

項目	実施計画（新規事業：太ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
⑦ その他、この法人が目的を達成するために必要な事業	<p>(4)地区部会長会 年2回</p> <p>(5)保助看護職委員会 年6回程度</p> <p>(6)推薦委員会 年6回程度</p> <p>(7)常任委員会(再掲) 年6回程度</p> <p>教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増進委員会</p> <p>(8)千葉県看護連盟との連携 2回</p> <p>①合同研修会</p> <p>2. 会員増の促進</p> <p>(1)新規入会の促進</p> <p>①新人看護職の入会促進</p> <p>②未加入施設への入会促進</p> <p>③保健師・准看護師の入会促進</p> <p>④その他</p> <p>(2)継続会員への勧奨</p> <p>(3)再入会者への入会促進</p> <p>(4)会員増進委員会の開催 年6回</p> <p>3. 公益社団法人に係る届出事務(千葉県知事等)</p> <p>(1)平成27年度事業計画・収支予算等の提出</p> <p>(2)平成26年度定期報告(事業報告・決算報告等)</p> <p>(3)役員等の変更登記及び届出</p> <p>4. 日本看護協会との連携</p> <p>(1)法人委員会・理事会</p> <p>(2)職能委員長会</p> <p>(3)日本看護協会通常総会代議員選出</p> <p>5. 行政等との連携</p> <p>(1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画</p> <p>(2)三師会、日本助産師会及び関係団体との連携</p> <p>(3)関係団体の行事等への協賛・後援</p> <p>6. 役員・職員の資質の向上と福利厚生</p> <p>(1)研修の実施</p> <p>(2)健康診断</p> <p>7. 看護会館の維持管理に関する事業</p> <p>(1)看護会館の保全等</p> <p>①安全管理</p> <p>・火災、防災訓練</p> <p>・消防用設備等の点検</p> <p>・設備の整備、点検(下水管・雨漏り修繕等)</p> <p>②環境整備</p>	<p>(4)地区部会長会 定例 2回(7/23、2/17)、 臨時 1回(9/5) 研修会「地域医療構想に関する事前学習」各6回(再掲)</p> <p>(5)保助看護職委員会 各6回(再掲)</p> <p>(6)推薦委員会 5回(8/19、10/23、12/18、2/19、3/16)</p> <p>(7)常任委員会(再掲)</p> <p>教育委員会 5回(7/30、9/17、10/22、11/27、1/21)</p> <p>労働環境改善委員会 6回(7/21、10/20、11/17、12/15、2/16、3/15)</p> <p>医療安全委員会 6回(5/14、7/9、9/3、10/8、12/3、2/4)</p> <p>広報委員会 6回(7/17、9/18、10/16、11/13、1/22、3/25)</p> <p>会員増進委員会 6回(5/28、7/30、9/17、11/26、1/28、2/25)</p> <p>(8)千葉県看護連盟との連携</p> <p>①合同研修会 2回</p> <p>第1回目(7/9)千葉中央看護専門学校(1階講堂)参加者 133名 看護連盟DVD上映 講演「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護の将来ビジョンと看護職の役割」 講師 公益社団法人千葉県看護協会 会長 坂本すが氏</p> <p>第2回目(1/14)千葉中央看護専門学校(1階講堂)参加者 176名 看護連盟DVD上映 講演①「24時間365日、質の高い看護を提供するために～看護が目指す方向～」 講師 (公財)日本訪問看護財団 上野まり氏 講演②「平成28年度診療報酬改定に向けた看護管理者の取り組み」 講師 グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン アソシエイトマネージャー 湯原淳平氏</p> <p>2. 会員増の促進</p> <p>(1)新規入会の促進 会員数25,595名(うち新規会員 2,647名、前年比 628名増)3/31現在</p> <p>①新人看護職の入会促進(フレッシュセミナー等で入会の案内を実施)</p> <p>②未加入施設への入会促進</p> <p>・地区部会主催の研修会の参加案内を非会員施設へ送付するよう依頼</p> <p>・地区部会研修会を受講した非会員に入会案内のパンフレットの配布と入会勧誘を依頼</p> <p>・看護師職能集会、交流会(領域Ⅱ)における参加者への入会勧奨を実施(10/8・12/3)</p> <p>③保健師・准看護師の入会促進</p> <p>・保健師職能交流会(11/24)、保健師職能集会(2/13)における保健師への入会勧奨を実施</p> <p>・准看護師交流会(1/23)における入会の勧奨を実施</p> <p>④その他 千葉県看護学生研究発表会の会場で「看護協会コーナー」を設け、協会のPRを実施(11/20)千葉県文化会館</p> <p>(2)継続会員への勧奨</p> <p>(3)再入会者への入会促進</p> <p>(4)会員増進委員会の開催 6回(5/28、7/30、9/17、11/26、1/28、2/25)</p> <p>3. 公益社団法人に係る届出事務</p> <p>(1)平成27年度事業計画・収支予算等の提出(H27.3/31)</p> <p>(2)平成26年度定期報告(事業報告・決算報告等)(6/30)</p> <p>(3)役員等の変更登記及び届出 役員変更登記申請(8/7)</p> <p>4. 日本看護協会との連携</p> <p>(1)法人委員会・理事会ほか</p> <p>法人委員会 5回(5/8、7/31、9/25、11/27、2/19)</p> <p>理事会 5回(5/8、6/10、7/30・31、9/25、11/26・27)</p> <p>日本看護協会通常総会(6/9、6/10)代議員26名参加(再掲)</p> <p>全国職能別交流集会(6/11)代議員23名参加</p> <p>(2)職能委員長会 第2回(8/3、3/11)</p> <p>(3)日本看護協会通常総会代議員選出</p> <p>平成27年度代議員等事前研修会(5/28)参加者 33名(代議員23名、予備代議員10名)</p> <p>平成27年度千葉県看護協会定時総会にて日本看護協会代議員・予備代議員を選出(平成28年度代議員・予備代議員各27名)(7/31報告)</p> <p>5. 行政等との連携</p> <p>(1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画</p> <p>(2)三師会、日本助産師会及び関係団体との連携</p> <p>(3)関係団体の行事等への協賛・後援(後援54件、共催1件)</p> <p>6. 役員・職員の資質の向上と福利厚生</p> <p>(1)研修の実施</p> <p>個人情報保護・マイナンバー制度に関する研修会(職員対象)(10/9・10/29)</p> <p>(2)健康診断 役職員対象(11月～1月)</p> <p>7. 看護会館の維持管理に関する事業</p> <p>(1)看護会館の保全等</p> <p>①安全管理</p> <p>・火災、防災訓練(12月実施)</p> <p>・消防用設備等の点検(12月実施)</p> <p>・設備の整備、点検(下水管・雨漏り修繕等)</p> <p>・看護会館屋根防水シーリング点検</p> <p>②環境整備</p> <p>・維持的な環境整備の実施</p>

平成27年度決算報告

1. 会計基準について

平成24年度、新公益社団法人へ移行したことに伴い、本会の決算書は新公益法人制度に準拠した「20年会計基準」に基づいて作成されることとなり、当該会計基準適用により以下のとおりとなっている。

*「平成20年会計基準」 国の定める公益社団法人の標準会計方式（平成20年策定、施行）

(1) 会計区分について

会計区分については、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3会計区分にて構成されることとなった。

- ①「公益目的事業会計」は、定款第4条（事業）の規定による7つの事業に区分している。
- ②「収益事業等会計」は、収益事業である「施設の貸与等事業」「販売手数料及び出展広告料に関する事業」と、相互扶助事業である「会員福利厚生等に関する事業」に区分している。
- ③「法人会計」には、事業費以外の管理部門経費などが計上されている。

(2) 財務3基準について

公益社団法人には、法定要件として次の財務3基準を満たすことが求められる。

- ① 収支相償の原則（認定法第5条6号、第14条）
公益目的事業に係る収入が、公益目的事業に要する費用を超えてはならない。
- ② 公益目的事業比率（認定法第5条8号、第15条）
公益目的事業の費用が、事業費・管理費の合計額の50%以上でなければならない。
- ③ 遊休財産保有制限（認定法第5条9号、第16条）
遊休財産額（用途を定めない財産）が保有制限額（1年分の公益目的事業費相当額）を超えてはならない。

2. 平成27年度決算の概要

全体決算の規模は、収益で3.9億円（予算執行率98.98%）、費用で3.8億円（予算執行率99.38%）であり、主な点は以下のとおりである。

(1) 経常収益について

- ① 受取年会費については153,048千円を計上しており、予算と比較して156千円の増額となっている。なお受取入会金・受取年会費については、会費規程に基づき、その50%を公益目的事業会計へ計上している。（残額は法人会計へ計上）
- ② 事業受託料は68,279千円で、予算と比較して65千円の減額となっている。
- ③ 補助金・助成金は予算額と同額の9,341千円であった。

(2) 経常費用について

- ① 公益目的事業会計の経常費用の合計は335,170千円で、予算と比較して1,771千円の減額となっている。
- ② 収益事業等会計の経常費用の合計は6,900千円で、予算と比較して150千円の増額である。
- ③ 法人会計の経常費用の合計は36,428千円で、予算と比較して746千円の減額である。

(3) 平成27年度決算における財務3基準について

① 収支相償

公益事業経常収益294,151千円 - 公益事業経常費用335,170千円=公益事業経常増減額▲41,019千円
▲41,019千円+各種調整額合計1,241千円=▲39,778千円

*各種調整額合計・・・支出を伴わない費用や、費用計上されない支出などを調整したもの

→公益目的事業に係る収入が、公益目的事業に要する費用を超えていないため、基準を満たしている。

② 公益目的事業比率

(公益事業経常費用335,170千円 - 訪問用車両取得資金取崩額5,000千円) ÷ (経常費用合計378,498千円 + 記念事業積立額400千円 - 訪問用車両取得資金取崩額5,000千円)=88.30% ≥ 50%

→公益目的事業の費用が、事業費・管理費等の合計額の50%以上であるため、基準を満たしている。

③ 遊休財産保有制限

平成27年度末遊休財産額204,944千円 ≤ 保有制限額335,170千円

→遊休財産額が保有上限額を超えていないため、基準を満たしている。

平成27年度 決算 総合計

(単位：千円)

経常収益計	391,529
経常費用計	378,498
当期経常増減額	13,031 ①
経常外収益計	0
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0 ②
当期一般正味財産増減額	13,031 ①+②=③
正味財産期首残高	664,925 ④
正味財産期末残高	677,956 ③+④

平成27年度 決算 収益の部

(単位：千円)

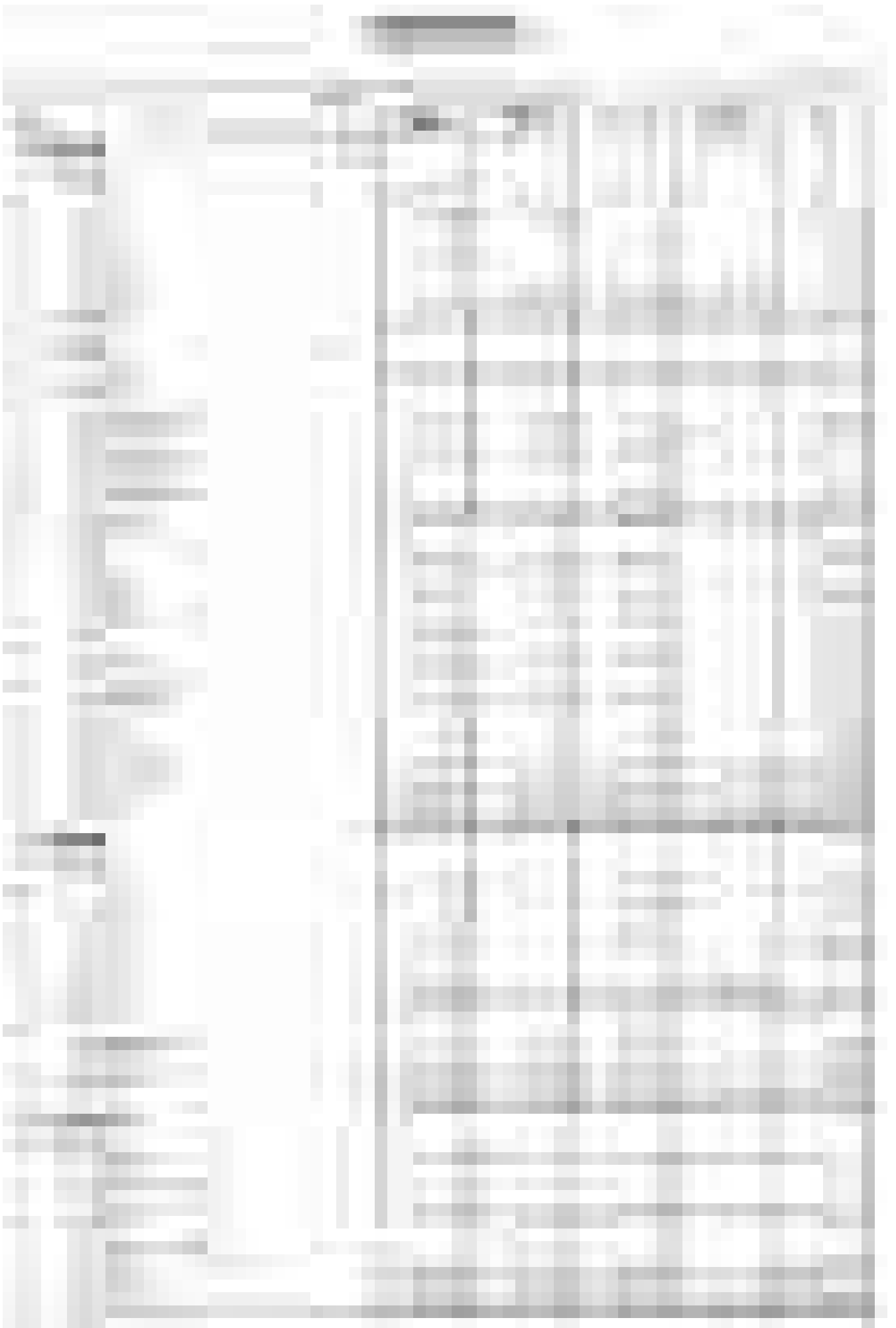
会計区分	科 目	決算額	予算額	増減額	執行率	
公益 目的 事業 会 計	受取入会金	16,308	16,260	48	100.30%	
	受取年会費	76,524	76,446	78	100.10%	
	研修会参加料	55,019	54,447	572	101.05%	
	事業 受託料 収 益	看護職員の資質向上研修事業受託料(千葉県)	28,283	28,343	△60	99.79%
		ナースセンター事業受託料・管理受託料(千葉県)	32,200	32,200	0	100.00%
		訪問看護推進事業受託料(千葉県)	5,219	5,219	0	100.00%
		小児救急電話相談事業受託料(千葉県)	1,085	1,090	△5	99.54%
		インターネット配信研修受託料(日本看護協会)	792	792	0	100.00%
		助産実践能力強化支援事業受託料(日本看護協会)	100	100	0	100.00%
		看護職連携構築モデル事業受託料(日本看護協会)	600	600	0	100.00%
		小 計	68,279	68,344	△65	99.90%
	受取 補助金等	教育助成金(日本看護協会)	9,241	9,241	0	100.00%
		看護の普及啓発助成金(日本看護協会)	100	100	0	100.00%
		小 計	9,341	9,341	0	100.00%
	受取寄付金	1,300	1,300	0	100.00%	
	その他事業収益(受取手数料・雑収益) ※訪看・居宅事業分を除く	1,742	1,533	209	113.63%	
	特定資産受取利息及び雑収益(受取利息・雑収益) ※訪看・居宅事業分を除く	302	283	19	106.71%	
	訪問看護・居宅介護支援事業収益	65,483	70,165	△4,682	93.33%	
	公益目的事業 計(内部取引消去前)	294,298	298,119	△3,821	98.72%	
	内部取引消去	△147	0	△147	—	
公益目的事業 計	294,151	298,119	△3,968	98.67%		
収益 事業等 会 計	施設の貸与等事業	481	482	△1	99.79%	
	販売手数料及び出展広告料に関する事業	1,659	1,763	△104	94.10%	
	会員福利厚生等に関する事業	179	137	42	130.66%	
	収益事業等 計	2,319	2,382	△63	97.36%	
法 人 会 計	受取入会金	16,308	16,260	48	100.30%	
	受取年会費	76,524	76,446	78	100.10%	
	会員管理受託料・総会代議員業務受託料(日本看護協会)	2,069	2,068	1	100.05%	
	特定資産受取利息及び雑収益	158	299	△141	52.84%	
	法人会計 計	95,059	95,073	△14	99.99%	
経常収益計	391,529	395,574	△4,045	98.98%		

平成27年度 決算 費用の部

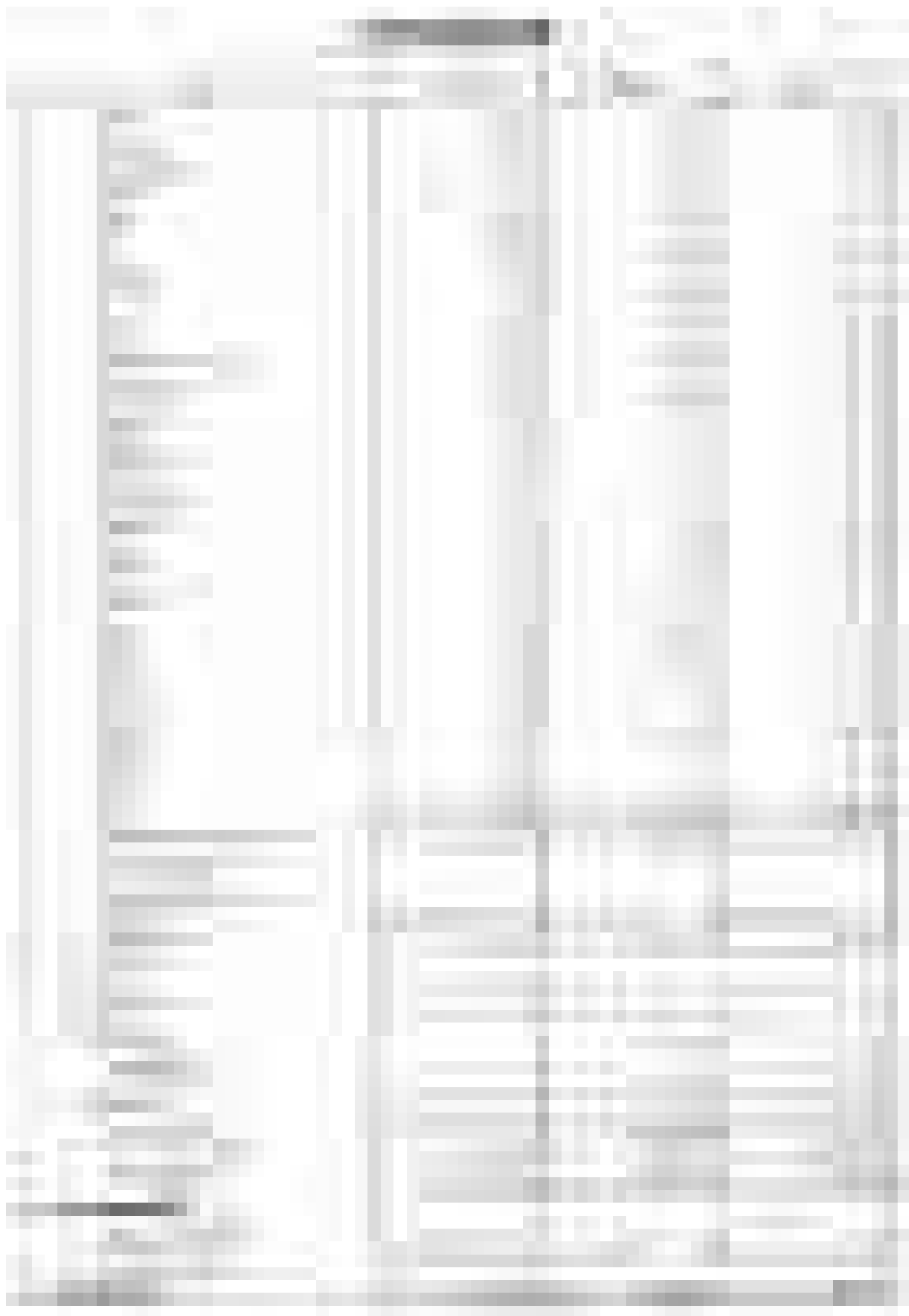
(単位：千円)

会計区分	定款事業		決算額	予算額	増減額	執行率		
公益目的事業会計	①	教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	資質向上	生涯教育	79,080	77,580	1,500	101.93%
				千葉県看護研究学会				
			図書室の管理運営					
			委員会の開催					
		資質向上(県)	千葉県委託研修	41,424	41,939	△515	98.77%	
	小計			120,504	119,519	985	100.82%	
	②	看護師等の労働環境等の改善、就業促進等により、看護師等の人材確保・定着に関する事業	看護職確保・定着事業	第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の策定	15,936	16,128	△192	98.81%
				看護職の労働環境の向上				
				看護進路相談事業				
		ナースセンター(県)	ナースセンター事業(千葉県委託)	34,348	34,908	△560	98.40%	
		医療看護安全	医療・看護における安全対策	12,201	12,226	△25	99.80%	
	小計			62,485	63,262	△777	98.77%	
	③	訪問看護の推進に関する事業	訪問看護推進	訪問看護師人材育成事業	12,064	12,707	△643	94.94%
				訪問看護ステーションIT化等推進事業				
				訪問看護の普及啓発事業				
				関係機関との連携				
		訪問看護推進(県)	訪問看護推進事業(千葉県委託)	6,834	6,747	87	101.29%	
	小計			18,898	19,454	△556	97.14%	
	④	県民への健康・福祉の増進に関する事業	保健知識普及啓発	「看護の日」「看護週間」事業	18,258	18,212	46	100.25%
				「まちの保健室」事業				
自殺予防対策								
千葉県小児救急電話相談事業								
関係機関・他団体への協力								
災害救護対策		災害支援対策事業	6,798	6,919	△121	98.25%		
小計			25,056	25,131	△75	99.70%		
⑤	看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	職能	職能委員会	5,173	5,887	△714	87.87%	
			職能集会・交流会					
		看護制度	県行政等への要望、意見具申	1,473	1,463	10	100.68%	
			看護関連施策に対する提言					
小計			6,646	7,350	△704	90.42%		
⑥	介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業	訪問看護・居宅介護	訪問看護事業	70,812	70,143	669	100.95%	
			居宅介護支援事業					
			訪問看護の普及					
			地域ニーズに応じた運営体制の整備					
			医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携					
			職員の資質の向上					
小計			70,812	70,143	669	100.95%		
⑦	その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	地区部会	地区部会活動事業	13,114	14,374	△1,260	91.23%	
		広報	情報提供、広報事業	13,090	13,468	△378	97.19%	
		小計			26,204	27,842	△1,638	94.12%
公益目的事業共通	各公益目的事業に係る共通経費		4,712	4,240	472	111.13%		
	小計			4,712	4,240	472	111.13%	
公益目的事業 計(内部取引等消去前)			335,317	336,941	△1,624	99.52%		
内部取引消去等			△147	0	△147	—		
公益目的事業 計			335,170	336,941	△1,771	99.47%		
収益事業等会計	施設の貸与等事業	施設の貸与等事業に伴う事業費		1,011	1,008	3	100.30%	
	販売手数料及び出展広告料に関する事業	看護の日広告料・医療安全大会協賛金等に係る経費		1,163	1,160	3	100.26%	
	会員福利厚生等に関する事業	会員福利厚生等に関する事業に伴う事業費		4,726	4,582	144	103.14%	
	収益事業等 計			6,900	6,750	150	102.22%	
法人会計	組織運営関係費(総会、理事会、会員増委員会、その他)		36,428	37,174	△746	97.99%		
	その他一般管理費							
	法人会計 計			36,428	37,174	△746	97.99%	
経常費用 計			378,498	380,865	△2,367	99.38%		

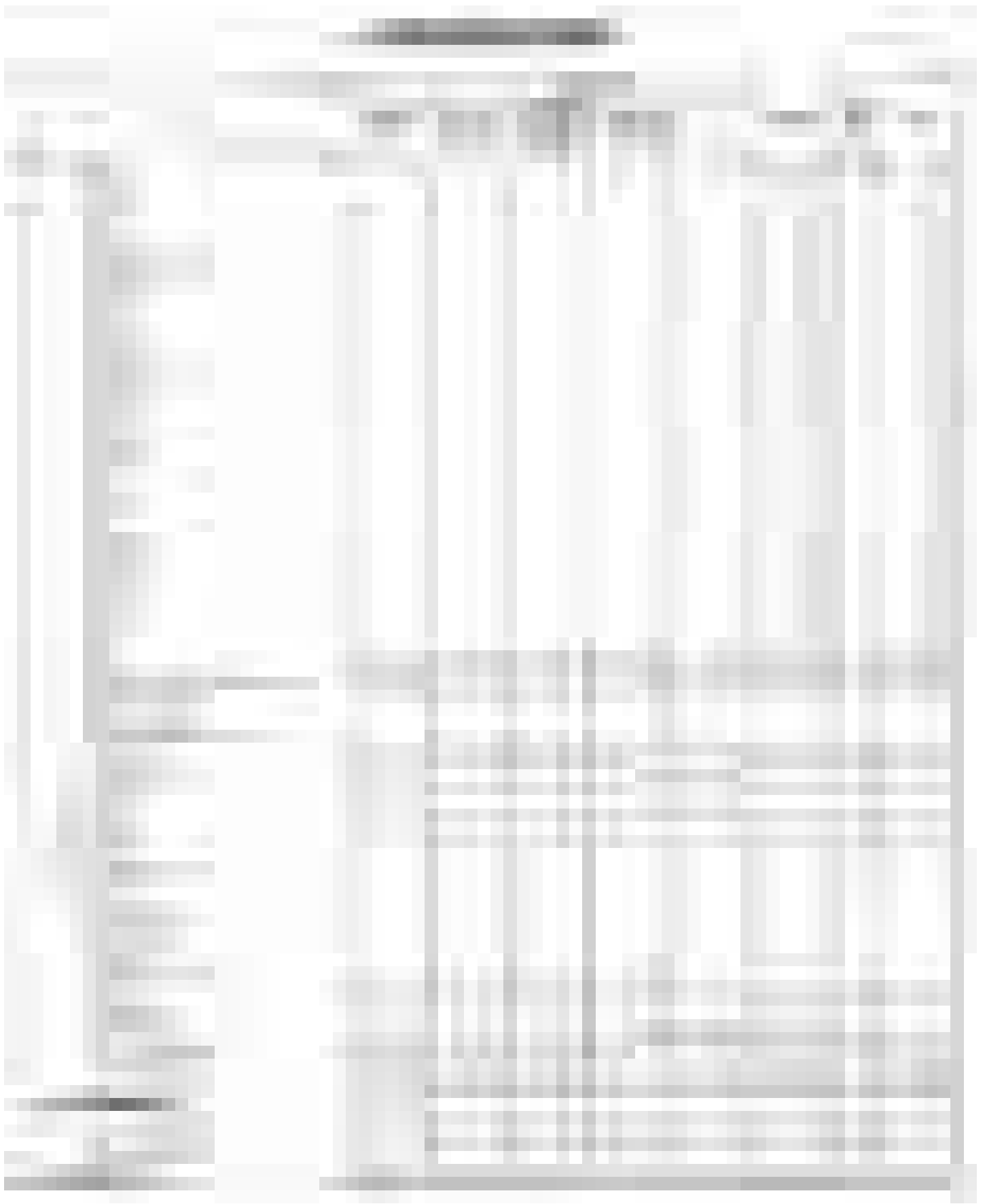




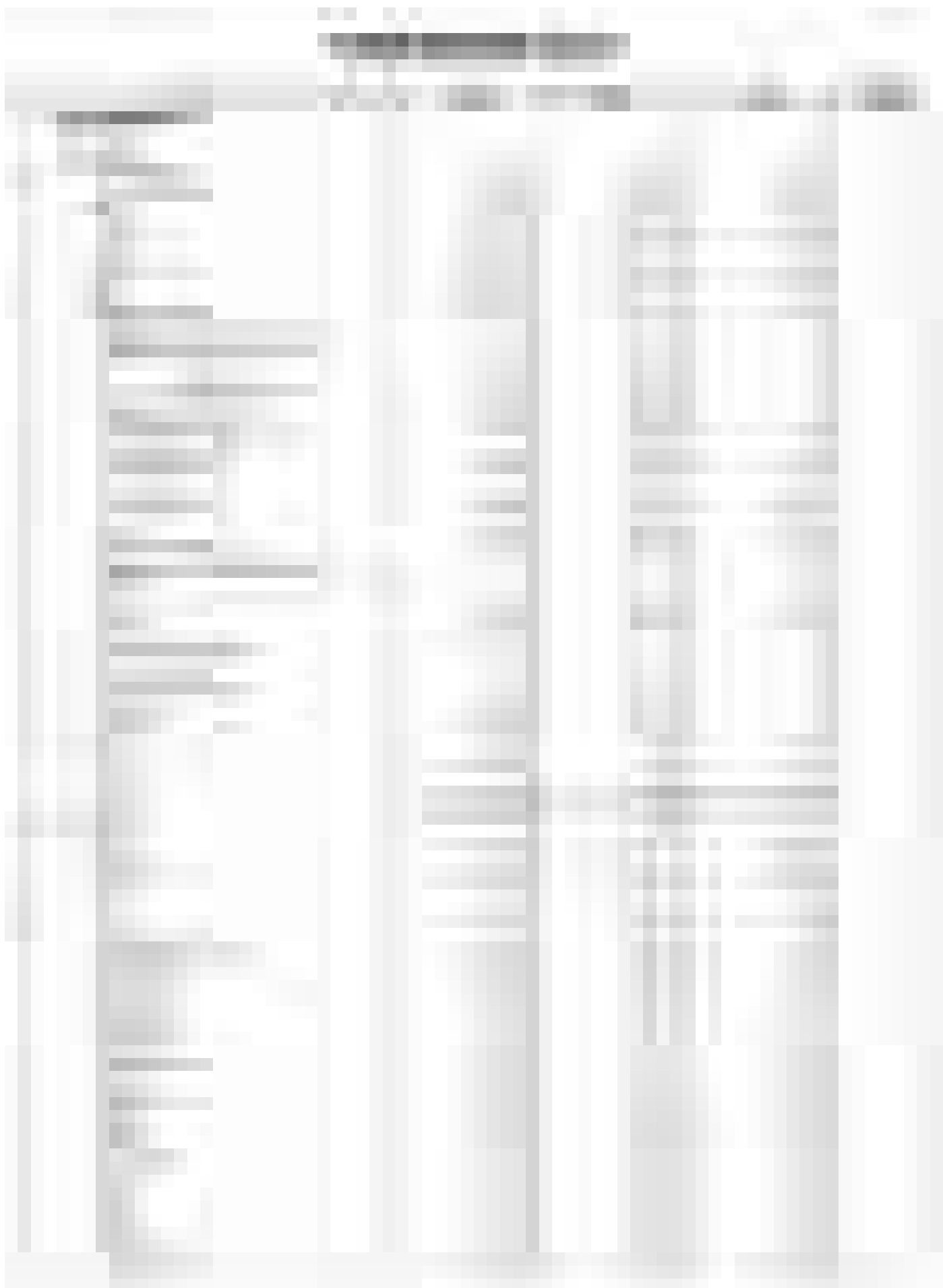


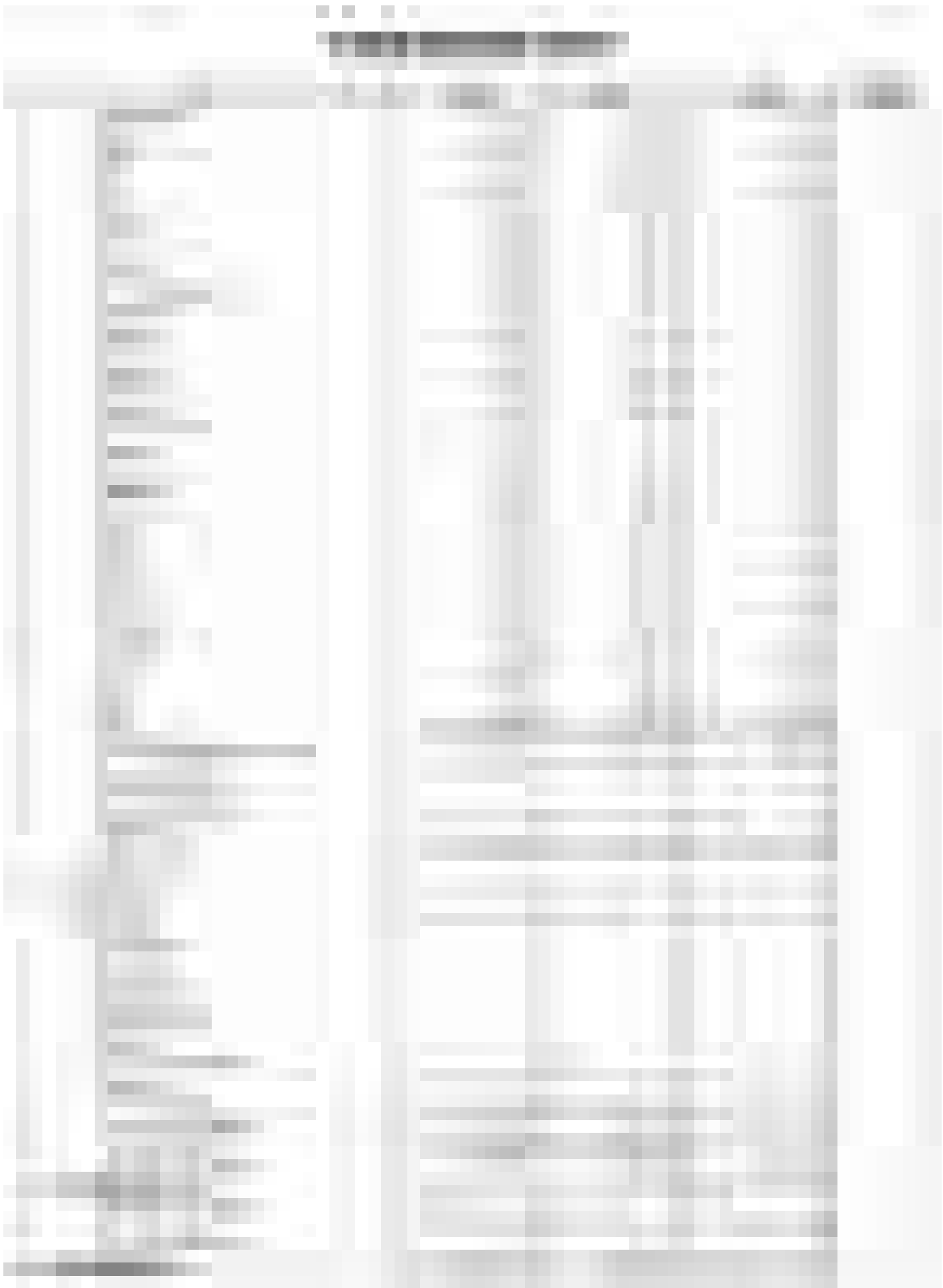












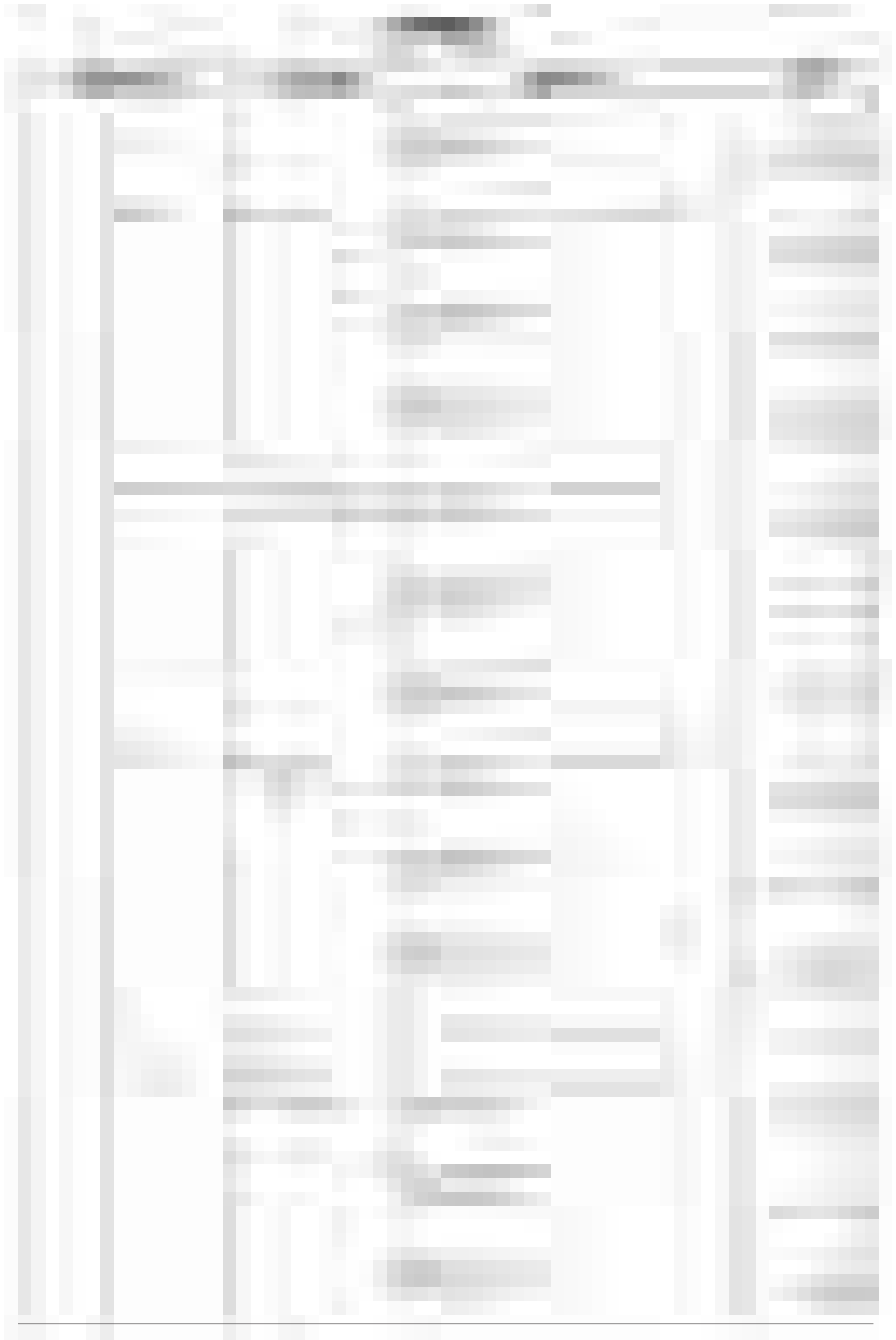




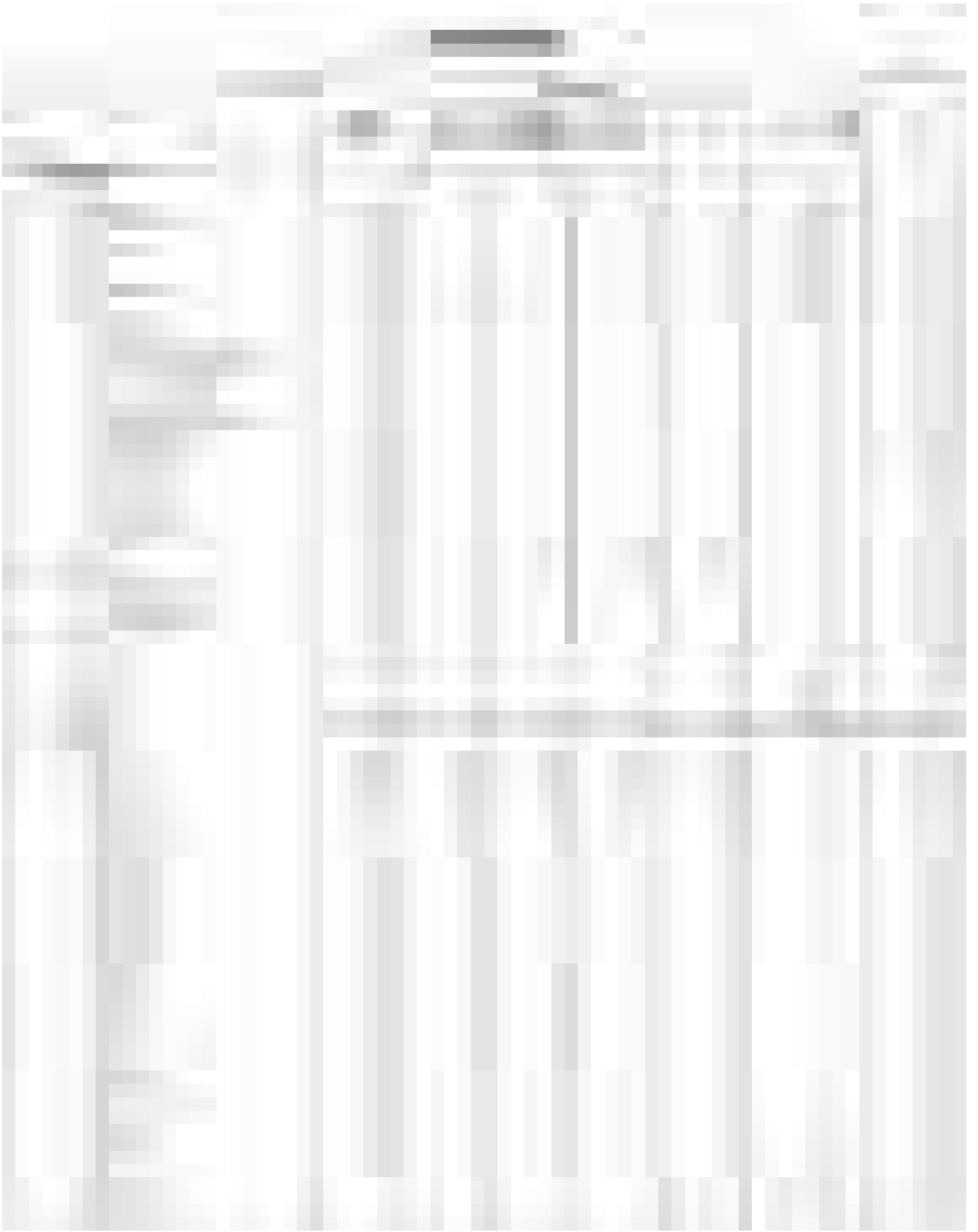


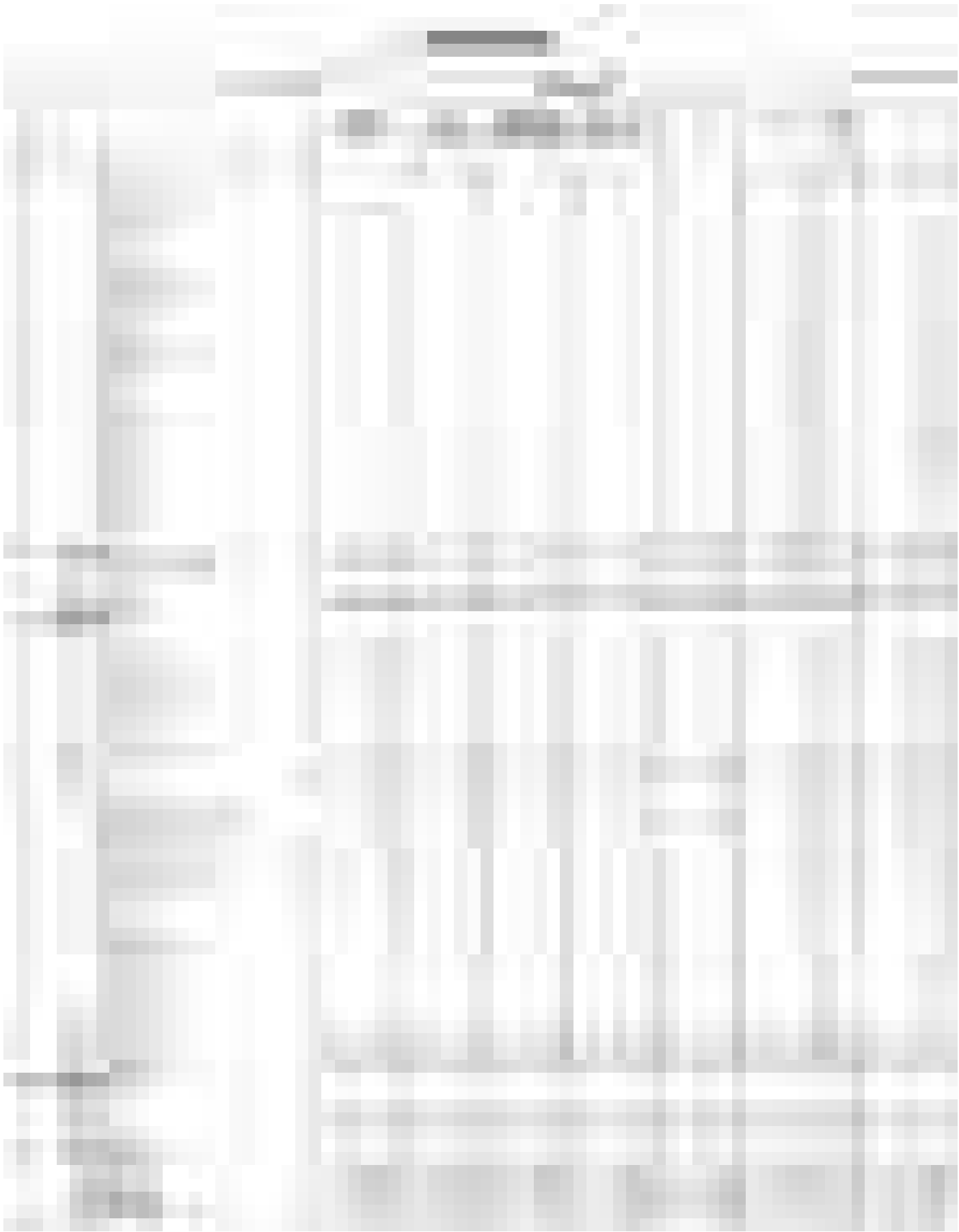


















第2号議案 平成28年度 役員及び推薦委員の選出について

- 1 定款22条及び選挙運営規則第2条、役員を選任に関する規程第2条の規定により、本日の定時総会において平成28年度改選にかかる役員、推薦委員の選挙を執行し、この選挙結果に基づく当総会の承認により役員及び推薦委員を選任することとする。
- 2 選挙運営規則第7条の規定により選挙管理委員を指名する。

I 理事候補者 選出数13名（候補者数13名）

役職	推薦・立候補	氏名	職種	所属	※ 役職理事
理事	推薦	星野 恵美子	看	公益社団法人 千葉県看護協会	会長
理事	推薦	石渡 祥子	看	成田赤十字病院	副会長
理事	推薦	福留 浩子	保	公益社団法人 千葉県看護協会	常任理事
理事	推薦	寺口 恵子	看	在宅	常任理事
理事	推薦	大澤 豊子	助	帝京平成大学 地域医療学部看護学科	助産師職能理事
理事	推薦	荒木 暁子	看	千葉県千葉リハビリテーションセンター	看護師職能(領域I)理事
理事	推薦	小暮 美子	看	国保小見川総合病院	—
理事	推薦	伊藤 恵美	看	公益財団法人 日産厚生会佐倉厚生園病院	—
理事	推薦	石井 久美子	看	医療法人社団協友会 柏厚生総合病院	—
理事	推薦	伊藤 淳子	看	船橋市立医療センター	—
理事	推薦	尾出 真理子	看	千葉県こども病院	—
理事	推薦	佐塚 みさ子	看	訪問看護サポテン	—
理事	推薦	山口 規予	准	社会医療法人社団正朋会 穴倉病院	—

(注) ※理事の選任は、選挙結果に基づく当総会の選任決議による。

※役職理事の選任について、当総会での選挙結果を平成28年度の役職理事の選任にかかる理事会へ総会の意見として提案する。

II 監事候補者 選出数1名（候補者数1名）

役職	推薦・立候補	氏名	職種	所属
監事	推薦	松永 敏子	保	在宅

※監事の選任は、選挙結果に基づく当総会の選任決議による。

III 推薦委員候補者 選出数7名（候補者数8名）

役職	推薦・立候補	氏名	職種	所属
推薦委員	推薦	古川 恭子	保	市川健康福祉センター
推薦委員	推薦	鈴木 佳代子	助	成田赤十字病院
推薦委員	推薦	大野 美喜子	看	医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院
推薦委員	推薦	布施 とも子	看	季美の森リハビリテーション病院
推薦委員	推薦	浮ヶ谷 芳子	看	千葉県精神科医療センター
推薦委員	推薦	佐々木 悦子	看	社会医療法人木下会 千葉西総合病院
推薦委員	推薦	久保 ひろみ	看	千葉市立海浜病院
推薦委員	立候補	秦 千夏	看	社会医療法人社団 千葉県勤労者医療協会千葉健生病院

※推薦委員の選任は、当総会における選挙結果による。

第3号議案 公益社団法人千葉県看護協会入会及び退会規程の改正について

以下のとおり当協会入会及び退会規程の改正について承認を求める。

【規程改正の目的及び趣旨】

現在、入会に関して日本看護協会との関係では、各県看護協会を通じて日本看護協会に同時入会することとなっているが、平成29年度から日本看護協会への入会の申し込み及び会費納入方法等の変更など、入会の仕組みが変更されることから、当協会での入会事務手続きとの調整を図るため、下記のとおり千葉県看護協会入会及び退会規程の改正を提案するものである。

千葉県看護協会入会及び退会規程改正（案）（新旧対照表）

現行規程	改正案（下線部分が改正箇所）
<p>(入会基準及び手続き)</p> <p>第2条</p> <p>この法人の正会員又は賛助会員として入会しようとする者に対しては、年度毎に^{削除}別表に掲げる事項を主たる内容とし、理事会の議を経て会長が別に定める入会申込書に、新たに入会する場合においては入会金及び当該年度の会費を、継続入会又は再入会する場合においては当該年度の会費を添えて提出を求めるものとする。</p> <p>2～6（省略）</p>	<p>(入会基準及び手続き)</p> <p>第2条</p> <p>この法人の正会員又は賛助会員として入会しようとする者に対しては、別表に掲げる事項を主たる内容とし理事会の議を経て会長が別に定める入会申込書に、新たに入会する場合には入会金及び当該年度の会費を、継続入会又は再入会する場合には当該年度の会費を添えて提出を求めるものとする。<u>ただし、引き続き継続入会する場合は、入会申込書の提出を要しない。※</u></p> <p>2～6（省略）</p>
<p>附則</p> <p>1～2（省略）</p>	<p>附則</p> <p>1～2（省略）</p> <p>附則 1 一部改正 この規程は、平成29年4月1日から施行する。</p>

※本改正規程施行後における最初の継続入会の場合は、入会申込書の提出は必要であるが、その後引き続き継続入会する場合（2回目以降）は、提出は不要という趣旨である。

第4号議案 平成29年度 公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員・予備代議員の選出について

以下のとおり推薦委員会から候補者の推薦があったので、これらの者を平成29年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員に選出することを求める。

平成29年度 公益社団法人日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者

【代議員】

	地区	氏名	シメイ	職種	所 属	区 分
1	理事等	石 渡 祥 子	イシワタリ ショウコ	看	成田赤十字病院	副会長候補
2		澤 田 いつ子	サワダ イツコ	保	公益社団法人 千葉県看護協会	専務理事
3		寺 口 恵 子	テラグチ ケイコ	看	在 宅	常任理事候補
4		石 井 市 枝	イシイ イチエ	保	君津健康福祉センター	保健師職能理事
5		大 澤 豊 子	オオサワ トヨコ	助	帝京平成大学 地域医療学部看護学科	助産師職能理事候補
6		山 崎 潤 子	ヤマザキ ジュンコ	看	緑が丘訪問看護ステーション	看護師職能II理事
7		山 口 規 子	ヤマグチ キヨ	准	社会医療法人社団正朋会 穴倉病院	
8	千 葉	荒 木 暁 子	アラキ アキコ	看	千葉県千葉リハビリテーションセンター	
9		島 田 和 江	シマダ カズエ	看	千葉県こども病院	
10		手 島 朋 美	テシマ トモミ	看	医療法人柏葉会 柏戸病院	
11		上永吉 美代子	カミナガヨシ ミヨコ	看	医療法人社団健脳会 千葉脳神経外科病院	
12	市 原	東 則 子	ヒガシ ノリコ	看	医療法人 鎗田病院	
13	船 橋	北 村 敦 子	キタムラ アツコ	看	公益財団法人復光会 総武病院	
14		井 上 薫	イノウエ カオル	助	船橋市立医療センター	
15	市 川	大 貫 明 美	オオヌキ アケミ	看	医療法人社団保健会 谷津保健病院	
16		宮 崎 志 穂	ミヤザキ シホ	看	独立行政法人国立国際医療研究センター国府台病院	
17		樋 浦 裕 里	ヒウラ ユリ	看	市川市リハビリテーション病院	
18	松 戸	根 本 由美子	ネモト ユミコ	看	医療法人社団誠馨会 新東京病院	
19	東 葛	中 澤 順 子	ナカザワ アヤコ	看	医療法人社団愛友会 千葉愛友会記念病院	
20		長 沢 文 子	ナガサワ ジュンコ	看	医療法人社団葵会 千葉・柏リハビリテーション病院	
21	印 旛	高 木 智 美	タカギ トモミ	看	社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院	
22		瀧 瀧 真砂美	コウケツ マサミ	看	医療法人社団愛信会 佐倉中央病院	
23		利 根 守 部 雅 美	モリベ マサミ	看	総合病院国保旭中央病院	
24	山 武	塚 原 信 江	ツカハラ ノブエ	看	季美の森リハビリテーション病院	
25	長 夷	倉 津 与之美	クラツ ヨシミ	看	社会医療法人社団正朋会 穴倉病院	
26	君 津	村 田 泉	ムラタ イズミ	看	国保直営君津中央病院 大佐和分院	
27	安 房	君 塚 真 弓	キミツカ マユミ	看	医療法人明星会 東条病院	

※保健師、准看護師、助産師を各1名含むこと。候補者の所属は、4月1日時点の会員登録情報による。

【予備代議員】

	選出区分	氏名	シメイ	職種	所 属	区 分
1	理事等	福 留 浩 子	フクドメ ヒロコ	保	公益社団法人 千葉県看護協会	常任理事候補
2		増 淵 美恵子	マスブチ ミエコ	助	日本医科大学千葉北総病院	理事
3		小 暮 美 子	コグレ ヨシコ	看	国保小見川総合病院	理事候補
4		伊 藤 恵 美	イトウ エミ	看	公益財団法人日産厚生会 佐倉厚生園病院	理事候補
5		石 井 久美子	イシイ クミコ	看	医療法人社団協友会 柏厚生総合病院	理事候補
6		伊 藤 淳 子	イトウ ジュンコ	看	船橋市立医療センター	理事候補
7		松 崎 春 香	マツザキ ハルカ	准	医療法人社団翠明会 山王病院	
8	千 葉	澤 田 正 志	サワダ マサシ	看	千葉県救急医療センター	
9		渡 辺 尚 子	ワタナベ ナオコ	看	千葉市青葉看護専門学校	
10		細 川 優 子	ホソカワ ユウコ	看	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	
11		稲 葉 美知代	イナバ ミチヨ	看	医療法人社団誠馨会 総泉病院	
12	市 原	川 上 節 子	カワカミ セツコ	看	千葉県循環器病センター	
13	船 橋	山 崎 住 江	ヤマザキ スミエ	看	東京女子医科大学八千代医療センター	
14		小 形 松 子	オガタ マツコ	看	医療法人社団紺整会 船橋整形外科病院	
15		光 野 清 美	ミツノ キヨミ	看	社会医療法人社団木下会 鎌ヶ谷総合病院	
16	市 川	佐 藤 香 里	サトウ カオリ	看	医療法人社団平静会 大村病院	
17		鈴 木 いつみ	スズキ イツミ	看	医療法人社団一条会 一条会病院	
18	松 戸	山 賀 好 美	ヤマガ ヨシミ	看	医療法人財団松園会 東葛クリニック病院	
19	東 葛	萩 原 祐 子	ハギワラ ユウコ	看	医療法人社団 葵会 柏たなか病院	
20		佐 澤 夫 佐好	サザワ フサコ	看	医療法人社団康喜会 東葛辻仲病院	
21	印 旛	丸 山 美穂子	マルヤマ ミホコ	看	日本医科大学千葉北総病院	
22		葛 生 則 子	クズウ ノリコ	看	医療法人鳳生会 総合医療センター成田病院	
23	利 根	村 山 敦 子	ムラヤマ アツコ	看	国保多古中央病院	
24	山 武	渡 辺 郁 子	ワタナベ イクコ	看	医療法人社団徳風会高根病院	
25	長 夷	宮 嶋 里 美	ミヤジマ サトミ	看	医療法人SHIODA 塩田病院	
26	君 津	新 田 ルミ	ニッタ ルミ	看	医療法人社団志仁会 薬丸病院	
27	安 房	本 橋 則 子	モトハシ ノリコ	看	社会医療法人社団木下会 館山病院	

※保健師、准看護師、助産師を各1名含むこと。候補者の所属は、4月1日時点の会員登録情報による。

報 告 事 項

平成28年度 公益社団法人千葉県看護協会事業計画及び収支予算について

平成28年度事業計画及び収支予算について理事会において承認されたので、報告する。

平成28年度 (公社) 千葉県看護協会事業計画について

【重点項目・重点事業】

- 1 看護職が働き続けられる職場環境づくりの推進
- 2 安全で安心な専門性の高い看護を提供するための教育の充実
- 3 地域包括ケアシステムの構築の推進
- 4 少子超高齢社会（2025年）を見据えた看護職の育成・確保
- 5 統括的役割を担う保健師の配置の推進と系統的な人材育成
- 6 妊娠・分娩・育児における安全・安心な助産ケアの確保

※項目は定款第4条の事業に基づき区分

項目	目的	事業	内容 (新規事業：ゴシック)	予算 (単位：千円)
① 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	県民に安全で安心な医療・看護を提供するために、職能団体の責任において、専門職としての生涯教育を提供し、看護職の資質の向上を図る。	1. 生涯教育	(1)生涯教育(51コース) ①資格修得教育 10コース ・医療安全管理者養成研修 ・認定看護管理者教育課程ファーストレベル ・認定看護管理者教育課程セカンドレベル ・実習指導者講習会(40日コース) ・保健師助産師看護師実習指導者講習会(特定分野) ・喀痰吸引等指導者養成講習会 ・AHA (アメリカ心臓協会) 心肺蘇生法トレーニングBLSコース(一次救命処置) ・AHA (アメリカ心臓協会) 心肺蘇生法トレーニングACLSコース(二次救命処置) ・AHA (アメリカ心臓協会) 心肺蘇生法トレーニングPEARSコース(小児救命処置) ・訪問看護師養成講習会「訪問看護研修ステップ1」 ②ステップアップ研修 22コース ・段階別ステップアップ研修(新人看護職員研修、2年目、管理者等) ・領域別ステップアップ研修(認知症初心者・中堅者・指導者研修、糖尿病、災害等) ③看護実践コース 19コース ・地域包括ケアを進めるための看護活動 ・エンド・オブ・ライフ・ケア(ELNEC-J)研修 等 ・在宅・介護施設等における感染管理 ・助産師実践能力強化支援研修 ～CLoCMPに活用できる必須研修その1・その2、ステップアップ研修～ 千葉県委託事業(再掲) ①新人看護師研修 ②新人助産師研修 ③実地指導者研修 ④新人看護職員研修責任者・教育担当者研修 ⑤実習指導者講習会(40日コース) ⑥保健師助産師看護師実習指導者講習会(特定分野) ⑦喀痰吸引等指導者養成講習会	公益目的事業 会計
		2. 千葉県看護研究学会	(1)第35回千葉県看護研究学会 日時 平成29年2月24日(金) 場所 未定	
		3. 図書室の管理運営	(1)図書室の管理運営 (2)資料・文献検索・レファレンス	
		4. 委員会の開催	(1)事業運営のための委員会の開催 ①教育委員会 年6回 ②第35回千葉県看護研究学会実行委員会 年8回 ③認定看護管理者教育課程運営委員会 年4回	
			小 計	99,439
② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による	ワーク・ライフ・バランスを踏まえて、看護職が専門性を発揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の確保定着を図る。	1. 第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進	(1)第4次千葉県看護職定着確保推進計画の普及・推進 (2)千葉県看護職定着確保推進計画の推進 (3)看護職定着確保対策協議会の開催 年1回 (4)看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲) ①「看護ちば」、ホームページ等による広報 ②各種協会事業を通じた普及 (5)労働環境改善委員会の開催 年6回	公益目的事業 会計
		2. 看護職の労働環境の向上	(1)ワーク・ライフ・バランスの推進 ①WLB推進会議の開催 年5回 ②WLBワークショップ ・事前研修会の開催 ・WLBワークショップの開催 新規4施設予定 既取組み施設8施設 ・WLBフォローアップワークショップの開催 ③取組み3年目評価会議の開催 ④インデックス調査 ⑤WLB推進の普及啓発及び就労環境改善のための研修会開催 ⑥相談窓口開設 ⑦アドバイザー派遣 (2)千葉県医療勤務環境改善センター(千葉県委託) 看護管理者アドバイザー派遣	
		3. 看護進路相談事業	(1)出前授業(いのちの大切さ教育) (2)ふれあい看護体験事業 (3)進路相談事業	

項目	目的	事業	内容 (新規事業：ゴシック)	予算 (単位：千円)
② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保定着に関する事業	ワーク・ライフ・バランスを踏まえて、看護職が専門性を発揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の確保定着を図る。	4. ナースセンター事業 (千葉県委託)	(1)看護職の定着確保に係る実態調査 (2)看護職の無料職業紹介 (3)届出制度 ①ナースセンターのコンピュータシステム(とどけるん)を利用し、離職届の受理 ②ナースセンターへの登録の働きかけ ③合同就職説明会開催情報、研修会、求人情報、施設概要等の提供 ④届出者に対する就業支援 (4)未就業看護職の就業支援 ①ハローワークにおける就業相談(千葉2回/月 松戸2回/月 木更津1回/月 成田1回/月 船橋1回/月) ②看護基礎技術講習会(4回/月程度開催) ③訪問看護基礎研修会 ・半日コース 年5回(地域別) ・1日コース 年3回(看護会館) ・研修会受講後の再就業支援(再掲) ④合同就職説明会の開催 ④看護職への求人情報の提供 ⑤サテライト事業の推進 ・ハローワークと連携した相談ブースの設置(再掲) ・合同就職説明会の開催(再掲) ・再就業支援セミナーの開催 2回/年程度(1回はナースセンター、1回は地区にて開催) (5)ナースセンター事業の広報 (6)ナースセンター運営委員会の開催 年1回 (7)関係機関との連携(日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等) (8)看護進路相談事業(再掲) (9)ナースセンターの維持管理	公益目的事業 会計
		5. 医療・看護における安全対策	(1)医療・看護に関する相談支援、情報提供 ・医療事故調査に関する情報提供、支援者紹介 (2)医療安全推進週間の推進 ①医療安全大会の開催 ・日 時 平成28年11月13日(日) ・場 所 幕張メッセ国際会議場 ②医療安全推進の普及啓発 ・医療安全に関する標語の募集 ・ポスター等による普及啓発 (3)医療安全管理者の育成 ①医療安全管理者養成研修会(再掲) ②医療安全担当者交流会 ③医療安全地区交流会(君津・安房地区) (4)関係機関等との連携促進 (5)医療安全委員会の開催 年6回	
			小 計	63,715
③ 訪問看護の推進に関する事業	在宅医療の中核を担う訪問看護の質の向上を図り、安定的な供給を図る。	1. 訪問看護推進事業 (千葉県委託)	(1)訪問看護推進協議会の開催 (2)訪問看護に関する総合相談の実施 (3)訪問看護の普及啓発事業 ①看看連携・看看ケアマネ連携フォーラム(印旛地区、他1ヶ所) ②訪問看護サービスの普及 ・リーフレットの作成(H28年診療報酬改定版) ・普及活動 (4)訪問看護師指導者育成研修会(3地区) (5)訪問看護師再就職支援事業 ①訪問看護ステーション見学体験 ②訪問看護師就職フェア	公益目的事業 会計
		2. 訪問看護推進事業 (協会単独事業)	(1)訪問看護師人材育成事業 ①「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 ・新卒訪問看護師(1年目 2名、2年目 1名) ・潜在訪問看護師(5名) ②訪問看護師養成講習会「訪問看護研修ステップ1」の開催(再掲) (2)訪問看護ステーションIT化等推進事業 ①「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」オープン化事業 ・「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の普及 ・看護の質評価システム、経営診断シミュレーションシステムの普及	
		3. 関係機関との連携	(1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携 (2)医師会、訪問看護ステーション連絡協議会等との連携	
			小 計	17,941
④ 福祉の健康・福祉の増進に関する事業	看護を通して、県民の健康の保持増進に寄与するとともに、看護への誓いを深める。	1. 「看護の日」「看護週間」事業	(1)第26回県民が集う「看護の日」事業 ①地区部会行事 平成28年5月14日(土) 【テーマ】 地域で輪となりつなげる看護 ・場 所 12地区部会の決定会場 ・内 容 地区独自の事業(測定、体験、助産師の仕事PR、相談等) ②実行委員会の開催(2回)	公益目的事業 会計
		2. 「まちの保健室」事業	(1)常設型の開催 ①開催場所 12地区部会の決定会場 ・血管年齢の測定(9地区) (2)イベント型の積極的な開催	

項目	目的	事業	内容 (新規事業：ゴシック)	予算 (単位：千円)
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業	看護を通して、県民の健康の保持増進に寄与するとともに、看護への誓いを深める。	3. 自殺予防対策	(1)心の総合相談 ①専用電話・専用メールによる相談対応 ②自殺予防に関する広報 (2)人材育成研修の開催 (再掲) ①「身体疾患を持ったうつ傾向にある患者への関わり方を学ぼう」(再掲) ②「看護管理に活用できる職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント」(再掲)	公益目的事業 会計
		4. 千葉県小児救急電話相談事業	(1)相談員の登録・管理 ・相談時間 19:00～6:00 ・相談体制 19:00～22:00 3名体制 22:00～6:00 2名体制 (2)相談員の勤務調整 (24名) (3)相談員研修会の開催 (4)小児救急電話相談事業協議会への出席	
⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	看護を取り巻く課題を明確にし、看護職の専門性や看護の発展に寄与する。	5. 関係機関・他団体への協力	(1)研修会等への講師紹介や派遣 (2)行事等への参加、必要時ボランティアの派遣	22,597
		6. 災害支援対策事業	(1)災害支援ネットワークの強化 ①千葉県看護協会災害対策本部の設置 ②災害時における関係機関との連携 ・日本看護協会及び都道府県看護協会 ・千葉県、市町村 ③平常時における連携 ・県内施設、日本看護協会等合同防災訓練 ・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加 (2)災害に備えた支援体制の整備 ①災害支援ナースの登録促進 ②災害支援ナースの登録・管理 ③災害救護対応マニュアルの見直し ④災害時の災害支援ナースの派遣調整 ⑤災害時必要物品の管理 (3)災害支援ナースの育成 ①「災害支援ナースの基礎知識 ～災害看護の第一歩～」(再掲) ②「災害医療と看護 (実践編)」(再掲) ③災害支援ナース更新・再登録要件講習会 (旧災害支援ナースフォローアップ研修)	
小 計				22,597
⑥ 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業	在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。	1. 職能委員会 (職能)	(1)保健師職能委員会 年6回程度 (2)助産師職能委員会 年6回程度 (3)看護師職能委員会 年6回程度	公益目的事業 会計
		2. 職能集会・交流会(職能)	(1)職能集会 ①保健師職能集会 ②助産師職能集会 ③看護師職能集会(領域Ⅰ) ④看護師職能集会(領域Ⅱ) (2)各職能別交流会 ①保健師職能交流会 ②助産師職能交流会 (管理者、中堅) ③看護師職能交流会(領域Ⅰ) ④看護師職能交流会(領域Ⅱ) ⑤准看護師交流会	
⑥ 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業	在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。	3. 助産師出向支援導入事業	(1)助産師出向支援導入事業	7,925
		1. 県行政等への要望・意見具申 (看護制度)	(1)県の翌年度予算等に関する要望書の提出 (2)県議会等の活動への協力依頼等 (3)千葉県医療審議会等への参画	
⑥ 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業	在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。	2. 看護関連施策に対する提言 (看護制度)	(1)国・日本看護協会等の要望・提言 (2)資格認定制度の推進 ①専門看護師、認定看護師への支援 ②専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 ③特定行為に係る看護師の研修制度の普及・推進	7,925
		1. 訪問看護事業	(1)質の高い訪問看護の提供 (2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (3)24時間、緊急時の訪問看護体制の充実	
⑥ 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業	在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。	2. 居宅介護支援事業	(1)質の高いケアプランの提供 (2)地域のネットワークづくり (3)利用者の申請代行	公益目的事業 会計
		3. 訪問看護の普及	(1)訪問看護研修生の受入れ (2)看護学生実習の受入れ	
⑥ 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業	在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。	4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備	(1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (2)ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回 (3)ちば訪問看護ステーション運営会議 年3回	55,532
		5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携	(1)医療機関、介護支援専門員等との連携 ①地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加 (2)利用者確保のための広報活動	
⑥ 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業	在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。	6. 職員の資質の向上	(1)事例検討会 (2)研修会・学会等への参加 (3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)	55,532
		小 計		

項目	目的	事業	内 容 (新規事業：ゴシック)	予 算 (単位：千円)
	県民の健康な生活の実現に貢献するために、地域の特性を考慮した看護の提供及び保健知識の普及を行う。	1. 地区部会活動事業	(1)具体的な地区部会活動 ①役員会 年5回程度 ②連絡会 年2回程度 ③研修会 年3回 ④まちの保健室の開催 (再掲) ⑤「看護の日」「看護週間」事業 (再掲) ⑥その他、地区特有の事業 (2)看護職定着確保対策の推進 ①合同就職説明会の開催 (再掲)	公益目的事業 会 計
	情報提供及び広報を行う。	1. 情報提供、広報事業	(1)千葉県看護協会の広報 ①機関誌「看護ちば」の発行 年4回 ②ホームページの充実 ③協会パンフレット等の活用 (2)広報委員会の開催 年6回	
			小 計	34,027
	当協会会員に対する相互扶助等の(福利厚生)事業を行う。	1. 施設の貸与等事業 2. 販売手数料及び出展広告に関する事業 3. 会員サービス・福祉の充実等	(1)本納建物賃貸 (1)看護関連図書販売の斡旋 (2)総会・医療安全大会等 出展広告掲載業者の募集 (3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務 (日本看護協会) (1)会員への相談支援、情報提供 (2)看護職の表彰 (3)慶弔、病氣見舞い (4)災害時の支援 (5)会員福利厚生サービスの実施・広報	収 益 事業等 会 計
⑦ その他、この法人が目的を達成するために必要な事業	県民の健康な生活の実現に貢献するために、公益社団法人としての組織運営を円滑・適正に行う。	1. 組織運営に関する会議等の開催 2. 会員増の促進 3. 公益社団法人に係る届出事務(千葉県知事等) 4. 日本看護協会との連携 5. 行政等との連携 6. 役員・職員の資質の向上と福利厚生 7. 協会資産の管理	(1)総会 年1回 ①日時：平成28年6月22日(水) ②場所：ホテルポートプラザちば (2)理事会 年6回程度 (3)施設等会員代表者会 年2回 (4)地区部会長会 年2回 (5)保助看護職能委員会 年6回程度 (6)推薦委員会 年6回程度 (7)常任委員会 (再掲) 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増進委員会 (8)千葉県看護連盟との連携 ①合同研修会 2回 (1)新会員手続の移行に伴うシステム改修・広報 ①会員管理システムの改修 ②新会員手続に関する広報 イ. 看護ちばへの記事掲載 年4回 ロ. 会員手続の担当者説明会の実施 (2)新規入会の促進 ①新人看護職の入会促進 ②未加入施設への入会促進 ③保健師・准看護師の入会促進 (3)継続会員への勸奨 (4)再入会者への入会促進 (5)会員増進委員会の開催 年6回 (1)平成28年度事業計画・収支予算等の提出 (2)平成27年度定期報告 (事業報告・決算報告等) (3)役員等の変更登記及び届出 (1)法人会員会・理事会 (2)職能委員長会 (3)日本看護協会通常総会代議員選出 (1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 (2)三師会、日本助産師会及び関係団体との連携 (3)関係団体の行事等への協賛・後援 (1)研修の実施 (2)健康診断 (1)看護会館等の管理 ①看護会館の管理 イ 保全等 ・設備の整備、点検、警備等 消防用設備、空調、自動扉等の整備点検管理委託、会館警備委託、 廃棄物処理委託 看護会館受電設備の改修工事 ・火災、防災訓練 ロ 環境整備 ・会館清掃業務委託、構内緑化管理委託、装飾用植木リース、駐車場管理、 社内ネットワーク管理 ②公用車の管理 (2)情報資産の管理・活用 ①情報資産の管理 イ 情報セキュリティの確保 ロ 個人情報関連業務の標準化 ・講師、委員等情報一元管理システムの構築 ・特定個人情報外部管理サービスの導入 ②情報資産の活用 イ グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有	法 人 会 計
			小 計	
			予 算 合 計	346,674

平成28年度 公益社団法人千葉県看護協会収支予算について

平成28年度予算の概要

1 予算編成方針

平成24年度、新公益社団法人へ移行したことに伴い、予算の編成にあたっては、公益目的事業を重視し、事業計画を円滑かつ効率的に推進するため、限りある収入を効果的に活用することを旨に、重点事業を設定し、また個別事業ごとに事業の内容を精査し、経費を積算したうえで予算を編成したものである。

2 予算の作成方式

(1) 法令により新公益法人制度に準拠した「20年会計基準」を適用しており、収支予算は、新基準に基づいた「損益ベース」の収支予算書で構成している。

* 「平成20年会計基準」 国の定める公益社団法人の標準会計方式（平成20年策定、施行）

(2) 収支予算は、大きく「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計（全体管理費）」の3つの会計区分として構成される。

(3) 「公益目的事業会計」は、定款第4条（事業）の規定による7つの事業に区分している。

(4) 「収益事業等会計」は、収益事業「施設の貸与等事業」「販売手数料及び出展広告料に関する事業」と、その他の事業（相互扶助（共益）事業）「会員福利厚生等に関する事業」に区分している。

(5) 平成28年度予算は、公益社団法人の法定要件として求められる、次の財務三基準を考慮して作成し、これらの基準をクリアーしている。

- ① 公益目的事業に係る収入が事業実施に要する費用を超えないこと（収支相償の原則）
- ② 公益目的事業比率が事業費全体の50%以上となるものであること（50%ルール）
- ③ 遊休財産額（用途を定めない財産）が保有制限額を超えないこと

3 予算の構成等

(1) 概況

① 全体予算の規模は、収益で361,646千円、費用で346,674千円である。

前年度決算との比較において主な点は以下のとおりである。

イ) 研修会参加料	:	55,019千円→49,355千円
・看護教員養成研修等受託事業 終了	:	2,000千円減
・その他(インターネット配信研修一部中止等)	:	3,000千円減
ロ) 看護職員の資質向上研修事業受託料	:	28,283千円→5,000千円
・看護教員養成研修受託事業 終了	:	16,000千円減
ハ) 助産師出向支援導入事業受託料	:	0千円→2,118千円
・助産師出向支援導入事業 新規受託	:	2,118千円増

② 費用内訳は、次のとおりである。

公益目的事業	301,176千円	(86.88%)
収益事業等	7,626千円	(2.20%)
法人会計	37,872千円	(10.92%)
計	346,674千円	(100%)

(2) 特記事項

① 受取入会金及び受取年会費については過去の会員数増加数をベースとして、新規入会数2,700人、会員数26,000人を見込み算定している。

② 受取入会金及び受取年会費については、制度上、原則として50%を「公益目的事業会計」に計上する必要がある等の理由から、「公益事業会計」と「収益事業・法人会計」に二分し、それぞれ50%を計上している。

ただし、実際の執行にあっては、法人会計から公益目的事業の費用も負担することとなる。

(入会金・年会費の50%だけを公益目的事業に用いるということではない。)

③ 県等他団体からの受託・補助等事業については、見込額をもとに予算を計上しているものである。

平成28年度 収支予算書（概要）

平成28年度 収支予算

（単位：千円）

経常収益計	361,646
経常費用計	346,674
当期経常増減額	14,972
当期一般正味財産増減額	14,972
正味財産期首残高	679,634
正味財産期末残高	694,606

収益の部

（単位：千円）

会計区分	科目	予算額	前年度 予算額	増減額	構成比率	
公益 目的 事業 会計	受取入会金	16,200	16,260	△60	4.48%	
	受取年会費	78,000	76,446	1,554	21.57%	
	研修会参加料	49,355	54,447	△5,092	13.65%	
	事業受託料 収益	看護職員の資質向上研修事業受託料（千葉県）	5,000	28,343	△23,343	1.38%
		ナースセンター事業受託料・管理受託料（千葉県）	32,200	32,200	0	8.90%
		訪問看護推進事業受託料（千葉県）	4,500	5,219	△719	1.24%
		小児救急電話相談事業受託料（千葉県）	984	1,090	△106	0.27%
		助産師出向支援導入事業受託料（千葉県）	2,118	0	2,118	0.59%
		インターネット配信研修受託料（日本看護協会）	604	792	△188	0.17%
		助産実践能力強化支援事業受託料（日本看護協会）	0	100	△100	0.00%
		看護職連携構築モデル事業受託料（日本看護協会）	0	600	△600	0.00%
		小計	45,406	68,344	△22,938	12.56%
	受取補助金等	教育助成金（日本看護協会）	9,000	9,241	△241	2.49%
		看護の普及啓発助成金（日本看護協会）	100	100	0	0.03%
		小計	9,100	9,341	△241	2.52%
	受取寄附金	1,300	1,300	0	0.36%	
	その他事業収益（受取手数料・雑収益）	1,706	1,533	173	0.47%	
	特定資産受取利息及び雑収益（受取利息・雑収益） ※訪看・居宅事業分を除く	258	283	△25	0.07%	
	訪問看護・居宅介護支援事業収益	60,942	70,165	△9,223	16.85%	
	公益目的事業 計	262,267	298,119	△35,852	72.52%	
収益事業等 会計	施設の貸与等事業 本納賃貸料等	482	482	0	0.13%	
	販売手数料及び出展広告料に関する事業 医療安全大会協賛金等	1,463	1,763	△300	0.40%	
	日本看護協会受託料（会員管理業務・代議員業務） ※計上事業変更	2,947	0	2,947	0.81%	
	会員福利厚生等に関する事業 自販機管理手数料等	137	137	0	0.04%	
収益事業等 計	5,029	2,382	2,647	1.39%		
法人 会計	受取入会金	16,200	16,260	△60	4.48%	
	受取年会費	78,000	76,446	1,554	21.57%	
	会員管理受託料・総会代議員業務受託料（日本看護協会） ※計上事業変更	0	2,068	△2,068	0.00%	
	特定資産受取利息及び雑収益	150	299	△149	0.04%	
	法人会計 計	94,350	95,073	△723	26.09%	
経常収益計	361,646	395,574	△33,928	100.00%		

費用の部

(単位：千円)

会計区分	定 款 事 業		予算額	前年度予算額	増減	構成比率		
公 益 目 的 事 業 計	①	教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	資質向上	生涯教育	78,876	77,580	1,296	22.75%
				千葉県看護研究学会				
				図書室の管理運営				
				委員会の開催				
		資質向上(県)	千葉県委託研修、助産師出向支援導入事業受託料	20,563	41,939	△21,376	5.93%	
	小 計			99,439	119,519	△20,080	28.68%	
	②	看護師等の労働環境等の改善、就業促進等により、看護師等の人材確保・定着に関する事業	看護職確保・定着事業	第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進	17,131	16,128	1,003	4.94%
				看護職の労働環境の向上				
				看護進路相談事業				
		ナースセンター事業(県)	ナースセンター事業(千葉県委託)	34,144	34,908	△764	9.85%	
		医療看護安全	医療・看護における安全対策	12,440	12,226	214	3.59%	
	小 計			63,715	63,262	453	18.38%	
	③	訪問看護の推進に関する事業	訪問看護推進	訪問看護師人材育成事業	10,658	12,707	△2,049	3.07%
				訪問看護ステーションIT化等推進事業				
				訪問看護の普及啓発事業				
				関係機関との連携				
		訪問看護推進(県)	訪問看護推進事業(千葉県委託)	7,283	6,747	536	2.10%	
	小 計			17,941	19,454	△1,513	5.18%	
	④	県民への健康・福祉の増進に関する事業	保健知識普及啓発	「看護の日」「看護週間」事業	15,801	18,212	△2,411	4.56%
「まちの保健室」事業								
自殺予防対策								
千葉県小児救急電話相談事業								
関係機関・他団体への協力								
災害救護対策		災害支援対策事業	6,796	6,919	△123	1.96%		
	関係機関・他団体への協力							
小 計			22,597	25,131	△2,534	6.52%		
⑤	看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	職能	職能委員会	6,460	5,887	573	1.86%	
			職能集会・交流会					
		看護制度	県行政等への要望、意見具申	1,465	1,463	2	0.42%	
			看護関連施策に対する提言					
小 計			7,925	7,350	575	2.29%		
⑥	介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業	訪問看護・居宅介護	訪問看護事業	55,532	70,143	△14,611	16.02%	
			居宅介護支援事業					
			訪問看護の普及					
			地域ニーズに応じた運営体制の整備					
			医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携					
			職員の資質の向上					
小 計			55,532	70,143	△14,611	16.02%		
⑦	その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	地区部会	地区部会活動事業	15,127	14,374	753	4.36%	
		広報	情報提供、広報事業	13,977	13,468	509	4.03%	
		公益目的事業共通	各公益目的事業に係る共通経費	4,923	4,240	683	1.42%	
		小 計			34,027	32,082	1,945	9.82%
公益目的事業 計			301,176	336,941	△35,765	86.88%		
収益事業等会計	施設の貸与等事業	施設の貸与等事業に伴う事業費		1,008	1,008	0	0.29%	
	販売手数料及び出展広告料に関する事業	販売手数料及び出展広告料に関する事業に伴う事業費		1,398	1,160	238	0.40%	
	会員福利厚生等に関する事業	会員福利厚生等に関する事業に伴う事業費		5,220	4,582	638	1.51%	
	収益事業等 計			7,626	6,750	876	2.20%	
法人会計	組織運営関係費(総会、理事会、会員増委員会 その他)		37,872	37,174	698	10.92%		
	その他一般管理費							
	法人会計 計			37,872	37,174	698	10.92%	
経常費用計			346,674	380,865	△34,191	100.00%		

平成28年度予算 正味財産増減計算書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

(単位：千円)

	公益目的 事業会計	収益事業等会計				法人会計	合計
	中計	施設貸与等	販売手数料等	会員福利厚生	中計	中計	
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1)経常収益							
①特定資産運用益							
特定資産受取利息	309	1	1	2	4	61	374
②受取入会金							
受取入会金	16,200				0	16,200	32,400
③受取会費							
正会員受取会費	78,000				0	78,000	156,000
④事業収益							
イ) 研修会参加料							
教育研修会参加料	49,355				0		49,355
ロ) 事業受託料収入							
看護職員の資質向上研修事業受託料	5,000				0		5,000
ナースセンター事業受託料	26,360				0		26,360
ナースセンター会館管理受託料	5,840				0		5,840
訪問看護推進事業受託料	4,500				0		4,500
小児救急電話相談事業受託料	984				0		984
助産師出向支援導入事業受託料	2,118				0		2,118
インターネット配信研修業務受託料	604				0		604
会員登録事務業務受託料	0		2,797		2,797		2,797
日本看護協会代議員選出業務受託料	0		150		150		150
ハ) 訪問看護・居宅介護支援事業収益							
訪問看護療養費収益	48,607				0		48,607
基本利用料収益	2,469				0		2,469
その他の利用料収益(訪看)	2,483				0		2,483
治験収益	1,056				0		1,056
居宅介護支援事業収益	5,464				0		5,464
その他の利用料収益(居宅)	10				0		10
雑収益	800				0		800
二) その他事業収益							
受取手数料	1,706	480	1,462	135	2,077		3,783
⑤受取補助金等							
日本看護協会助成金	9,100				0		9,100
⑥受取寄付金							
受取寄付金	1,300				0		1,300
⑦雑収益							
受取利息	2	1			1	66	69
雑収益	0				0	23	23
経常収益計	262,267	482	4,410	137	5,029	94,350	361,646

平成28年度予算 正味財産増減計算書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

(単位：千円)

	公益目的 事業会計	収益事業等会計			法人会計	合計	
	中計	施設貸与等	販売手数料等	会員福利厚生	中計		
(2)経常費用	事業費				事業費	管理費	
役員報酬	22,675	122	117	99	338	635	23,648
給料手当	106,543	158	355	632	1,145	9,510	117,198
賞与	18,098	27	60	107	194	1,540	19,832
通勤手当	7,544	33	33	39	105	499	8,148
役員退職慰勞引当金繰入額	3,787	25	25	30	80	364	4,231
退職給付費用	4,865	27	27	31	85	386	5,336
福利厚生費	22,023	109	109	128	346	2,246	24,615
旅費交通費	1,401				0	449	1,850
通信運搬費	8,495	1	304	122	427	3,294	12,216
減価償却費	16,333	306	43	63	412	1,506	18,251
消耗什器備品費	1,398	3	3	3	9	29	1,436
消耗品費	6,518	19	19	19	57	219	6,794
修繕費	1,193	1	1	4	6	134	1,333
印刷製本費	12,869			72	72	3,981	16,922
燃料費	461				0		461
光熱水料費	6,436	7	8	21	36	761	7,233
賃借料	4,568	128	2	5	135	2,154	6,857
保険料	1,534	1	2	4	7	153	1,694
諸謝金	18,452				0	340	18,792
租税公課	6,567	27	275	32	334	1,177	8,078
支払負担金	55				0	262	317
看護材料購入費	202				0		202
管理諸費	16,237	14	15	3,283	3,312	1,547	21,096
交際費	0				0	470	470
図書費	1,041				0	229	1,270
会議費	0				0	1,389	1,389
支払手数料	0				0	3,046	3,046
雑費（その他の経費）	11,881			526	526	1,552	13,959
経常費用計	301,176	1,008	1,398	5,220	7,626	37,872	346,674
当期経常増減額	△ 38,909	△ 526	3,012	△ 5,083	△ 2,597	56,478	14,972
2. 経常外増減の部							0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	2,000		△ 2,000	5,083	3,083	△ 5,083	0
当期一般正味財産増減額	△ 36,909	△ 526	1,012	0	486	51,395	14,972
一般正味財産期首残高	252,951	6,623	2,684	0	9,307	417,376	679,634
一般正味財産期末残高	216,042	6,097	3,696	0	9,793	468,771	694,606
II 指定正味財産増減の部							
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	216,042	6,097	3,696	0	9,793	468,771	694,606

平成28年度 正味財産増減計算書 公益目的事業会計明細表(1)

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

(単位：千円)

	公益目的事業会計 公1						
	1 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業		2 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等により、看護師等の人材確保・定着に関する事業			3 訪問看護の推進に関する事業	
	資質向上	資質向上(県)	確保定着	ナースセンター	医療安全	訪看推進	訪看推進(県)
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1)経常収益							
①特定資産運用益							
特定資産受取利息	160	55	3		5	5	4
②受取入会金							
受取入会金							
③受取会費							
正会員受取会費							
④事業収益							
イ) 研修会参加料							
教育研修会参加料	48,117	1,238					
ロ) 事業受託料							
看護職員の資質向上研修事業受託料		5,000					
ナースセンター事業受託料				26,360			
ナースセンター会館管理受託料				5,840			
訪問看護推進事業受託料							4,500
小児救急電話相談事業受託料							
助産師出向支援導入事業受託料		2,118					
インターネット配信研修業務受託料	604						
会員登録事務業務受託料							
日本看護協会代議員選出業務受託料							
ハ) 訪問看護・居宅介護支援事業収益							
訪問看護療養費収益							
基本利用料収益							
その他の利用料収益(訪看)							
治験収益							
居宅介護支援事業収益							
その他の利用料収益(居宅)							
雑収益(訪問・居宅)							
二) その他事業収益							
受取手数料	520		780				
雑収益							
⑤受取補助金等							
日本看護協会助成金	9,000						
⑥受取寄附金							
受取寄附金							
⑦雑収益							
受取利息							
雑収益							
経常収益計	58,401	8,411	783	32,200	5	5	4,504

公益目的事業会計 公1

4 県民への健康・福祉の増進に関する事業		5 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業		7 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業			小計	6 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業(訪問看護ステーション)		小計	中計
保健知識	災害救護	職能	看護制度	地区部会	広報	共通		訪問看護	居宅介護		
6	4	3	2	4	3	4	258	45	6	51	309
							16,200	16,200		0	16,200
							78,000	78,000		0	78,000
								49,355		0	49,355
							5,000			0	5,000
							26,360			0	26,360
							5,840			0	5,840
							4,500			0	4,500
984							984			0	984
							2,118			0	2,118
							604			0	604
							0			0	0
							0			0	0
							0	48,607		48,607	48,607
							0	2,469		2,469	2,469
							0	2,483		2,483	2,483
							0	1,056		1,056	1,056
							0		5,464	5,464	5,464
							0		10	10	10
							0	800		800	800
	406						1,706			0	1,706
							0			0	0
100							9,100			0	9,100
							1,300	1,300		0	1,300
							0	2		2	2
							0			0	0
1,090	410	3	2	4	3	95,504	201,325	55,462	5,480	60,942	262,267

平成28年度 正味財産増減計算書 公益目的事業会計明細表(2)

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

(単位：千円)

	公益目的事業会計 公1						
	1 教育・研修等による 看護の質の向上 に関する事業		2 看護師等の労働環境等の改 善、就業促進等により、看 護師等の人材確保・定着に 関する事業			3 訪問看護の推進に 関する事業	
	資質向上	資質向上(県)	確保定着	ナースセンター	医療安全	訪看推進	訪看推進(県)
(2)経常費用							
役員報酬	3,973	1,297	1,641	2,406	1,755	2,442	1,223
給料手当	18,685	4,447	8,635	11,729	4,210	2,883	2,486
賞与	4,163	1,009	1,296	2,080	831	655	529
通勤手当	1,252	739	606	728	368	237	181
役員退職慰労引当金繰入額	914	567	368	559	195	182	131
退職給付費用	969	601	390	592	206	193	139
福利厚生費	3,938	2,443	1,586	2,406	839	784	565
旅費交通費	30	421		428	15	78	26
通信運搬費	1,200	204	156	1,091	303	269	594
減価償却費	5,667	1,825	500		333	1,762	230
消耗什器備品費	195	53	34	820	19	17	12
消耗品費	1,637	580	469	850	181	149	124
修繕費	391	134	8	115	12	13	9
印刷製本費	2,900	335	342	1,717	401	25	367
燃料費							
光熱水料費	2,215	760	48	2,200	67	73	53
賃借料	1,977	174	50	298	1,094	16	34
保険料	447	153	10		13	15	23
諸謝金	12,000	1,948	210	1,449	686	224	333
租税公課	3,388	1,164	74	20	102	111	82
支払負担金							
看護材料購入費							
管理諸費	5,605	1,546	98	4,298	135	498	107
交際費							
図書費	850	83		48	10		30
会議費							
支払手数料							
雑費(その他の経費)	6,480	80	610	310	665	32	5
経常費用計	78,876	20,563	17,131	34,144	12,440	10,658	7,283
評価損益等調整前当期経常増減額	△20,475	△12,152	△16,348	△1,944	△12,435	△10,653	△2,779
基本財産評価損益等							
特定資産評価損益等							
投資有価証券評価損益等							
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△20,475	△12,152	△16,348	△1,944	△12,435	△10,653	△2,779
2. 経常外増減の部							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額(法人会計より)							
当期一般正味財産増減額	△20,475	△12,152	△16,348	△1,944	△12,435	△10,653	△2,779
一般正味財産期首残高							
一般正味財産期末残高							
II 指定正味財産増減の部							
受取補助金等							
一般正味財産への振替額							
当期指定正味財産増減額							
指定正味財産期首残高							
指定正味財産期末残高							
III 正味財産期末残高							

公益目的事業会計 公1

4 県民への健康・福祉の増進に関する事業		5 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業		7 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業			小計	6 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業(訪問看護ステーション)		小計	中計
保健知識	災害救護	職能	看護制度	地区部会	広報	共通		訪問看護	居宅介護		
2,099	1,146	554	651	1,109	1,182		21,478	839	358	1,197	22,675
5,921	2,466	3,176	296	5,501	3,380		73,815	28,291	4,437	32,728	106,543
1,360	421	300	50	567	481		13,742	4,256	100	4,356	18,098
386	143	205	33	1,479	277		6,634	765	145	910	7,544
296	110	80	25	131	148		3,706	51	30	81	3,787
314	117	85	27	139	157		3,929	792	144	936	4,865
1,276	474	346	109	565	638		15,969	5,183	871	6,054	22,023
84	26			100			1,208	168	25	193	1,401
342	177	300		1,421	800		6,857	1,541	97	1,638	8,495
470	805	163	81	234	246	3,194	15,510	532	291	823	16,333
28	10	8	3	13	15	171	1,398			0	1,398
294	104	57	19	344	117	1,289	6,214	294	10	304	6,518
15	9	8	6	9	7	9	745	389	59	448	1,193
650	66	350		374	5,100		12,627	210	32	242	12,869
							0	400	61	461	461
83	49	46	33	51	42	52	5,772	576	88	664	6,436
18	10	110	7	622	9	11	4,430	120	18	138	4,568
17	11	9	7	10	8	11	734	702	98	800	1,534
180	140	350		932			18,452			0	18,452
126	74	70	51	78	64	80	5,484	940	143	1,083	6,567
	20						20	35		35	55
							0	202		202	202
168	99	93	67	197	1,106	106	14,123	1,912	202	2,114	16,237
							0			0	0
20							1,041			0	1,041
							0			0	0
							0			0	0
1,654	319	150		1,251	200		11,756	109	16	125	11,881
15,801	6,796	6,460	1,465	15,127	13,977	4,923	245,644	48,307	7,225	55,532	301,176
△14,711	△6,386	△6,457	△1,463	△15,123	△13,974	90,581	△44,319	7,155	△1,745	5,410	△38,909
							0				0
							0				0
							0				0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
△14,711	△6,386	△6,457	△1,463	△15,123	△13,974	90,581	△44,319	7,155	△1,745	5,410	△38,909
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
							0			0	0
△14,711	△6,386	△6,457	△1,463	△15,123	△13,974	90,581	△44,319	7,155	△1,745	5,410	△38,909
							267,799			△14,848	252,951
							223,480			△9,438	214,042
											0
											0
							0			0	0
							0			0	0
							223,480			△9,438	214,042

平成28年度 資金調達・設備投資の見込みについて

1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		<input type="checkbox"/> あ り	<input checked="" type="checkbox"/> な し
事業番号	借入先	金 額	
		円	

2) 設備投資の見込みについて

設 備 投 資 の 予 定		<input checked="" type="checkbox"/> あ り	<input type="checkbox"/> な し
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途
公1、収1 収2、他1 法人	看護会館受電設備改修	7,010,040円	自己資金
公1、収1 収2、他1 法人	講師・委員等情報一元管理 システム	4,298,400円	自己資金
公1、収1 収2、他1 法人	会員管理システム改修	1,058,400円	自己資金

理事会報告

会長 星野 恵美子

1. 理事会開催状況

回数	開催年月日	出席者		会場
		理事	監事	
第1回	平成27年 5月14日	16	3	千葉県看護会館 2階中研修室
第2回	平成27年 6月18日	18	3	ホテルポートプラザちば 2階パール
第3回	平成27年 7月16日	18	3	ホテルポートプラザちば 2階パール
第4回	平成27年 9月10日	18	3	千葉県看護会館 1階会議室
第5回	平成27年12月10日	17	2	京成ホテルミラマーレ 8階オーキッドルーム
第6回	平成28年 2月 4日	16	3	千葉県看護会館 1階会議室
第7回	平成28年 3月10日	16	2	千葉県看護会館 1階会議室

2. 理事会協議事項

回数	開催月日	協議事項	協議内容
第1回	平成27年 5月14日	議事 第1号議案 平成26年度事業報告について 第2号議案 平成26年度決算報告及び監査報告について 第3号議案 平成27年度改選役員等候補者について 第4号議案 会員以外の者からの監事候補の選出について 第5号議案 平成28年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者の選出について 第6号議案 平成27年度千葉県看護協会会長表彰について 第7号議案 平成27年度常任委員会委員の一部交代について 第8号議案 地区部会設置運営規程の改正について 第9号議案 平成27年度地区部会役員について	<ul style="list-style-type: none"> • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認
第2回	平成27年 6月18日	議事 第1号議案 定款変更に伴う看護師職能委員会の領域区分に伴う職能委員会設置運営規程の改正について 第2号議案 副会長、専務理事、職能理事（保健師職能・看護師職能領域Ⅱ）の選定について 第3号議案 理事会の議長（会長）に事故があった場合の議長について 第4号議案 業務執行理事の選定及び業務分担について 第5号議案 平成27年度役員の業務分担について 第6号議案 役員の報酬額の決定について 第7号議案 職能委員の選任について 第8号議案 平成27年度常任委員会委員の一部交代について 報告事項 1 協会事業の進捗状況について	<ul style="list-style-type: none"> • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認

回数	開催月日	協議事項	協議内容
第3回	平成27年 7月16日	議事 第1号議案 千葉県知事への要望について 第2号議案 地区部会設置運営規程の改正について 報告事項 1 協会事業の進捗状況について	<ul style="list-style-type: none"> • 要望事項の柱については承認。内容の説明について文言の整理などの調整を業務運営会議に一任することを満場一致で承認 • 満場一致で承認
第4回	平成27年 9月10日	議事 1 地区部会役員の変更について 2 千葉県看護協会個人情報基本規則の制定について 報告事項 1 千葉県知事への要望について	<ul style="list-style-type: none"> • 満場一致で承認 • 満場一致で承認
第5回	平成27年 12月10日	議事 1 訪問看護用車両運搬具取得資産の積立計画の中止及び目的外取り崩しについて 2 寄附金等取扱規程の制定について 3 平成27年度千葉県看護協会の収支予算（補正）予算について 4 平成28年度千葉県看護協会事業の重点項目・重点事業について 報告事項 1 平成27年度上期監事監査報告 2 協会事業の進捗状況について	<ul style="list-style-type: none"> • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 重点項目の柱については、満場一致で承認。内容説明については、当理事会での意見を踏まえて文言の整理を業務運営会議に一任することで承認
第6回	平成28年 2月4日	議事 1 平成28年度生涯教育研修計画について 2 平成28年度定時総会の招集について 報告事項 1 平成28年度千葉県看護協会事業の重点項目・重点事業について	<ul style="list-style-type: none"> • 満場一致で承認 • 満場一致で承認
第7回	平成28年 3月10日	議事 1 平成28年度事業計画について 2 平成28年度予算及び資金調達の見込みについて 3 平成28年度における千葉県看護協会の運営について（組織体制・運営体制等）について 4 公益社団法人の認定変更届について 報告事項 1 日本看護協会の新会員情報管理体制の実施に伴う入会手続きの変更について 2 協会事業の進捗状況について	<ul style="list-style-type: none"> • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認

業務運営会議報告

専務理事 澤田 いつ子

1 業務運営会議の目的

柔軟かつ円滑な協会運営に資することを目的として、主に理事会へ提案する重要事項または臨時の必要がある事項等について事前に協議または審議するため、会長、副会長、専務理事、常任理事によって構成される。

2 開催状況

回数	開催日	協議事項	協議内容
第1回	平成27年 5月7日	1 平成27年度第1回理事会における議案（審議事項）について (1) 平成26年度事業報告及び決算報告、平成27年度の役員の改選等、総会提出議案について 2 平成27年度定時総会の運営について	・平成27年度定時総会における議題及び運営の役割分担について協議した
第2回	8月20日	1 平成28年度における千葉県知事への要望事項等について (メール等の連絡により調整)	・理事、監事、施設等会員代表者など各方面からの要望を取りまとめ、県の実施状況等により調整したうえで要望事項を整理した
第3回	12月8日	1 平成27年度千葉県看護協会収支予算の変更（補正予算）について 2 平成28年度事業計画基本方針（案）について	・平成27年度の補正予算について検討した ・次年度の事業計画等の基本方針（案）を協議した
第4回	平成28年 2月2日	1 平成28年度生涯研修計画について 2 平成28年度定時総会の招集について	・平成28年度研修計画案について協議した ・平成28年度定時総会の招集について協議した
第5回	平成28年 3月4日	1 平成28年度事業計画について 2 平成28年度予算について 3 平成28年度千葉県看護協会の運営（組織体制・運営体制等）について 4 日本看護協会の新会員情報管理体制の実施に伴う入会手続きの変更について	・平成28年度事業計画、予算について協議した ・平成28年度の千葉県看護協会の運営（組織体制・運営体制）について協議した

施設等会員代表者会報告

専務理事 澤田 いつ子

回数	開催日	場所	内容
第1回	平成27年 7月16日	ホテルポート プラザちば 2階 ロイヤル	<p>表彰等 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 カンゴサウルス賞表彰 2 看護職ワーク・ライフ・バランス事業修了証交付 <p>I 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成27年度千葉県看護協会の事業計画について 2 看護師職能委員会の領域による区分について 「ナースセンターへの届出制度について」 公益社団法人 千葉県看護協会 常任理事 福留浩子 <p>III 講演</p> <p>「特定行為に係る看護師の研修制度」に対する 日本看護協会の考え方と活動方針について 講師 公益社団法人 日本看護協会 副会長 真田 弘美 氏 座長 公益社団法人 千葉県看護協会 常任理事 橋野 恭子</p>
第2回	平成28年 3月23日	ホテルポート プラザちば 2階 ロイヤル	<p>I 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成27年度事業の進捗状況について 2 平成28年度事業の方針等について 3 平成29年度からの入会手続きの変更について <p>II 講演</p> <p>「平成28年度診療報酬改定の概要と看護管理者の役割」 講師 公益社団法人 日本看護協会 常任理事 福井トシ子 氏 座長 公益社団法人 千葉県看護協会 副会長 石渡 祥子</p>

地区部会長会報告

専務理事 澤田 いつ子

I 平成27年度 地区部会長会

回数	開催日	内 容
第1回	平成27年 7月23日	I 議題 1 平成27年度千葉県看護協会の体制について (1) 千葉県看護協会定款及び関連諸規程について (2) 千葉県看護協会の組織・運営について ①組織機構図・組織運営図について ②役員の職務と担当職域について ③理事・監事事務分掌について ④事務局体制について (3) 年間行事予定について 2 地区部会活動について (1) 地区部会活動の役割等について (2) 地区部会の円滑な実施（事務処理等の取扱い）について (3) 平成26年度地区部会活動報告について (4) 平成27年度地区部会活動年間事業計画について 3 その他 II 意見交換
第2回	平成28年 2月17日	I 議題 1 平成28年度千葉県看護協会事業計画（重点項目・重点事業）について 2 地区部会に関わる事業の推進について 3 意見交換 II その他 1 協会からの連絡事項
臨時	平成27年 9月5日	目的：地域医療構想に関する事前学習 I 講 義 「これからの10年 ～地域医療「構想」が「現実」になるとき～」 講師 千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部 准教授 井出 博生 氏 II 意見交換

II 平成27年度 地区部会会計に係る説明会

回数	開催日	内 容
第1回	平成27年 4月23日	I 説明 1 地区部会事業の概要について 2 平成27年度地区部会に係る会計処理について 3 その他 II 質疑

職 能 委 員 会 報 告

保 健 師 職 能 委 員 会

委員長 石 井 市 枝

I 活動目標

- 1 保健師間の連携を強化するためのネットワークづくりを図る
- 2 現任教育の活動基盤づくりを図る
- 3 会員数を増やし、保健師職能の組織力のアップを図る

II 活動内容

1 保健師活動交流会の開催

- (1) 日 時 平成27年11月24日(火) 14時から16時30分
- (2) 会 場 千葉県土地改良会館(水土里ネット千葉) 4階大会議室
- (3) テーマ 「これからの健康支援活動を考える」
- (4) ねらい 超少子高齢社会を迎え、健康支援活動はどうあるべきか、どのような方向を目指すべきかを学ぶ機会とする。さらに、多所属の保健師と交流する機会を設け、学びを深めるとともに、今後のネットワーク作りにつなげる。
- (5) 参加者 25名 (職能委員含む)

(6) 内 容

- ① 講 演 「これからの健康支援活動を考える
〈育自分〉と〈夢〉をキーワードとした主体性を重視しよう」
講師 首都大学東京名誉教授 星 旦二 氏

- ② ワールドカフェ形式による交流(意見交換・情報交換)

(7) 総 括

講師から、健康で長生きするためには何が重要か、これからの健康支援活動を楽しくユーモアを交えて解説していただいた。

大切なことは、生活習慣が好ましくなるように前向きに夢を持って生きること。好ましい生活習慣が健康を規定するわけではなく、それは結果である。夢を持っている高校生は、飲酒、喫煙、薬物に手を出さない。家族が子供の力量形成をすることができ世代を超えて貧困が連鎖しないように予防することがポイント。基本理念は、エンパワーメント。

保健師は指導者ではなく伴走者。健康長寿のためには、〈育自分〉と〈夢〉が絶対必要というメッセージはとても印象に残った。

講演の後は、ワールドカフェ形式のグループワークで自由に意見交換を行った。いろいろなことを語り合い、交流できた貴重な時間となった。参加者は少なかったが、参加された方全員からアンケートの自由記載があり、高評価をいただいた。

(8) アンケート結果

ア 年齢

20歳代	5
30歳代	6
40歳代	4
50歳代	2

イ 所属

県	6
保健所設置市	1
市町村（保健所設置市以外）	6
企業・産業部門	0
医療機関	3
在宅	0
その他	1

ウ 看護協会への加入

加入	6
未加入	10
未記入	1

エ 参加動機（複数回答）

講演内容に興味があったから	11
他領域の保健師活動報告に興味があったから	2
他領域の保健師との情報交換と交流を深めたかった	5
仕事に活かせる内容だから	2
職場で勧められて	12

オ 講演

- ① 内容 参考になった 17
- ② 開催日 平日で参加しやすかった 14 どちらともいえない 3
- ③ 時間 足りなかった 5 ちょうど良かった 12
- ④ 感想・意見等（自由記載）

- ・目からウロコで考え方が180度変わるような講演が聞けて良かったです。ワクワクしました。(20代)
- ・疾病のとらえ方など全てが目からウロコでした。(30代)
- ・今、自分が行っている活動について、根本を見直さなければいけないのかも知れないと思わされる内容でした。先生が明るくてユーモラスでとても楽しい講義でした。(30代)
- ・いつも指導しなくてはいけないという意識があったが、伴走するという言葉に共感しました。(30代)
- ・とてもためになる講演でした。目からウロコでした。(40代)
- ・夢ややりたいことをサポートする視点で住民に接していきたいと思った。(30代)
- ・目からウロコの情報ばかりでした。もっと勉強しなければ気が引き締まりました。(20代)
- ・先生のお話はとても興味深く、もっと長くお聞きしたかったです。(30代)
- ・目からウロコでした。がんばるエネルギーをもらえて感謝です。(40代)
- ・新しい視点を学んだ。保健活動の技術的な内容の研修に参加したことがあったが、今日はとても新鮮な内容だった。(30代)
- ・先生の講義は、今まで勉強していた内容のものとは全く別の視点で、すごく新鮮でした。(20代)
- ・今までの考え方、指導について根本から考える機会となりました。学生の頃、新採の頃に聞いていたらまた違ったかなと思いました。(20代)

カ ワールド・カフェについて

- ① 内容 参考になった 17
- ② 時間 足りなかった 10 ちょうど良かった 7
- ③ 感想・意見等

- ・皆さんのお話が聞けて楽しかったです。(20代)
- ・仕事の話というよりも生き方の話を皆さんとできました。そこから、改めて仕事への取り組みへの考え方を思い直すきっかけになりました。まずは、自分の生き方、楽しく夢を持つとよいなど (30代)

- ・ワールドカフェというスタイルを体験できて参考になりました。(30代)
- ・グループによって切り口、意見がいろいろあり面白かった。(30代)
- ・緊張してあまり話せなかったです。(40代)
- ・前半の話をさらに深めることができよかった。(30代)
- ・もっと時間があればもっと深まったと思います。しかし、楽しかったです。(20代)
- ・初めてワールドカフェをしましたが、グループが変わると視点が色々変わるので、普通のグループワークより学びが深まりました。(30代)
- ・人が入れかわることで新たな情報が加わり、内容が充実していったのがおもしろかった。(30代)
- ・いろんな意見を聞けて、交流をできたことは、今後の自分の保健師活動の参考になりました。(20代)
- ・様々な環境で働く方の御意見や、グループ毎にどこを中心に話しているかが異なり、シャッフルすることで考えが広がると思いました。(20代)

キ 本日の保健師活動交流会を踏まえ、配置されている部署でどのような事に取り組みたいか。

- ・住民の方とかかわるときに、その人の"幸せって?"を意識する。(20代)
- ・対象者のモチベーションを意識して事業を考えていけるよう発言していきたいと思います。(30代)
- ・人の背景大事に読み取りたい。(20代)
- ・すぐ活かせるのは地区活動と思うので、ケースとの関わりの中でケースの価値観、生活を、主訴をとりまく状況として見ていくよう取り組みたい。(30代)
- ・夢、前向きに、をキーワードに取り組みもうと思います。(40代)
- ・もっと勉強したいです。健理学 (40代)
- ・とりあえず今日の内容を伝えたいです。保健師定例会で復命します。(20代)
- ・職場の雰囲気をもっと明るく保つ、少しでもやりがいの見出せる仕事をする。目標を少し視点を変える。(50代)
- ・まずは自分が夢を持ってワクワクすること。楽しく仕事をする。住民の保健指導ではなく伴走するという意識を持ちたいと思います。血圧やコレステロールの小さいOVERの数字にこだわらないようにします。(30代)
- ・とりいれたい。(50代)
- ・相手と話をすることで、趣味や生きがいなどもっとその人を知る上で、知るべきことがもっと増えたように思う。(30代)
- ・保健指導など、まだ自分は実践する機会がないが、今回の内容を参考に母子保健へ取り組んで行きたい。(20代)
- ・今まで指導、支援していた方々について考え、今後の支援についてどのような活動をするか見直したいと思います。(20代)

ク 今後、企画してほしい研修会や講演会、また保健師職能委員会に望むことや意見

- ・とてもよかった。また、開催してほしい。(50代)
- ・今日のようなお話をまたお聞きしたいです。(30代)
- ・保健師自身のメンタルヘルスケア等。ワールドカフェぜひまた受講したいです。(20代)
- ・本日はありがとうございました。(30代)
- ・有意義な時間をありがとうございました。(20代)

2 保健師職能集会の開催

- (1) 日 時 平成28年2月13日(土) 14:00～16:30
- (2) 会 場 千葉県看護会館 2階大研修室
- (3) テーマ 「保健師に求められる看護管理のあり方」
- (4) ねらい 保健師は、新任期から看護(地域保健)管理の役割を担っているということの確認、そして、中堅期、管理期となるにつれ、その管理内容が変化してくることを整理する。併せて、管理職(課長等)の役割と統括保健師(の配置)についても再度整理する。
- (5) 参加者 33名(職能委員含む)

(6) 内 容

① 講演 「保健師に求められる看護管理のあり方」

講師 長崎県立大学副学長 看護栄養学部教授 平野 かよ子氏

② ワールドカフェ形式による交流(意見交換・情報交換)

(7) 総 括

講師からは、公衆衛生看護管理とは、「保健師による諸活動がスムーズに展開し保健師の専門性が発揮され、諸活動に関わる人々がエンパワーされる仕組み(体制)を構築・運営し、保健師活動の質と地域で生活する人々の健康・生活の向上をめざす。」と定義し、初任期から保健師には管理的機能があるという整理をしていただいた。そして、公衆衛生看護における管理的機能として、情報管理・地区管理・事例管理・事業/事務管理・組織運営管理・予算編成/予算管理・人材育成・人事管理・健康危機管理がある。(アンダーラインは、管理者特有のもの)

また、組織において統括保健師を設置する目的は、分散配置の保健師をつなぎ、1. 保健師が組織全体、地域全体を把握(組織として組織横断的な情報共有を推進)し、2. 保健師間のネットワークを強化し、3. 保健師の資質の向上を図り、ラインの保健師が専門性を発揮して地域(行政)課題の優先順位を踏まえた計画等の施策を行うことを支援し、組織力の向上と地域の健康度の向上に寄与することである。そして、統括的機能が発揮されるためには、統括保健師一人の設置では不十分であり、次期統括保健師をはじめ、すべての保健師の理解と協力が不可欠であるとお話をいただいた。

講演の後は、ワールドカフェ方式のグループワークで自由に情報交換を行った。それぞれの年代での看護管理が必要であることを理解することができ、研修の狙いが達成できた。また、さまざまな年代の保健師と語り合い、交流できた貴重な時間となった。

(8) アンケート結果

ア 年齢

20歳代	4
30歳代	3
40歳代	8
50歳代	11

イ 所属

県	14
保健所設置市	4
市町村(保健所設置市以外)	6
企業・産業部門	0
医療機関	2

ウ 看護協会への加入

加入	14
未加入	12

エ 参加動機(複数回答)

講演内容に興味があったから	24
他領域の保健師活動報告に興味があったから	7
他領域の保健師との情報交換と交流を深めたかった	7
仕事に活かせる内容だから	2
職場で勧められて	1

オ 講演

- ① 内 容 参考になった 25 未記入 1
② 開催日 休日に参加しやすかった 19 平日の方が参加しやすい 4
どちらともいえない 2 未記入 1
③ 時 間 足りなかった 3 ちょうど良かった 22 未記入 1

④ 感想・意見等

- ・初めて平野先生のお話を聞いて、改めて保健師間の横の連携、統括保健師の役割等考えることができ
てよかった。(50代)
- ・原点に戻ることができました。(50代)
- ・もっと同じ職場の人を誘えばよかったと思いました。(50代)
- ・保健師活動の中でも看護管理の考えを取り入れること (40代)
- ・公衆衛生看護管理の言葉を初めてうかがいました。初任期から"管理"をしているというお話を後輩に
伝えたいと思います。(40代)
- ・公衆衛生看護管理を再度考える機会となりました。(40代)
- ・看護管理ということを整理して聞く機会がなかったので参考になりました。(50代)
- ・統括保健師のあり方について、とても参考になり生かしていきたい。(50代)
- ・保健師の専門性について整理でき、すっきりしました。とても勉強になりました。(20代)
- ・初任期から看護管理があるということが印象的でした。初任期からの積み重ねが大切なのだと感じ
ました。(20代)
- ・新任期から管理的機能がある事について、新任期向けの研修を聞く機会があるとよいと思いました。
今回聞くことができ、今後の業務を意識していきたいと思いました。ありがとうございました。
(20代)
- ・せっかくの機会なので、もう少し時間があつた方がよかった。(50代)
- ・「管理」という言葉のイメージから、自分とは遠い仕事と思っていたが、新任期から・・・というお
話を聞き、納得した。(40代)

カ ワールド・カフェについて

- ① 内 容 参考になった 26
② 時 間 足りなかった 3 ちょうど良かった 23
③ 感想・意見等

- ・他市、色々な分野の保健師と情報交換できてよかった。(50代)
- ・いろいろ視点がかわっておもしろかったです。(50代)
- ・初めて体験しました。20～30分という時間配分に慣れていないため、すぐ交代のような気がしまし
たが、終了してみると確かに色々な人と交流する機会になったので、こういうものなんだと、ワ
ールドカフェを知ったという感じでした。(40代)
- ・他部署の状況を自分の職場に置き換え考える機会となった。業務のできていること、見直す点が客観
視できた。(40代)
- ・いろいろな状況を知ることができてよかった。自分が参加したのは初めてで、体験できてよかった。
(40代)
- ・気軽に思っていることを話せたり、情報交換ができるよい方法だと思いました。(50代)
- ・統括保健師さんの悩みや考えていることを聞ける貴重な機会に参加してよかったです。メンバーとし
て、自分の考えや思いを先輩に伝えることも大事だと思いました。(20代)

- ・様々な立場、職場の方の意見ややり方を聞くことができ参考になりました。(20代)
- ・普段の業務では聞けないお話を聞く機会となりました。(20代)
- ・負担なく情報交換ができてよかった。(50代)
- ・いろいろな地域でどう進めているか、葛藤している部分も含めて前向きに動いている方々がいることが嬉しかったです。(50代)
- ・他施設の仕事内容がわかった。病院とは異なる悩み・課題があることを知った。自由に話せる雰囲気が良かった。(50代)

キ 本日の保健師職能集会を踏まえ、配置されている部署でどのような事に取り組みたいか。

- ・保健師として何（どんな）活動をしていきたいか。していく必要があるか話し合いたい。(50代)
- ・個々の事例に丁寧に関わることを新任期として大事にしたい。記録をまわして共有できるようにしたい。(20代)
- ・積極的に意見をもらい、活動に反映していける様にしたい。(40代)
- ・保健師活動について、専門性について、みんなで話し合ってみたいと思いました。何をしたいと思っているのか聞いてみたいです。(50代)
- ・看護管理をもう一度見直したい (50代)
- ・保健師の仕事振り返る機会となりました。何をやるかを自覚して、今の仕事に取り組むだけでも違う成果が得られる気がします。ありがとうございました。(40代)
- ・統括保健師と、統括をサポートする保健師の役割や体制づくりを考えられるような研修の企画。新任期から個別ケース管理ができるような人材育成。自分自身もどうあるべきか考えたいと思います。(40代)
- ・分散配置されている部署同士の情報交換、まずは管理職だけでの定期的な集まりでもよいので始めてみたいと思いました。(50代)
- ・保健師として、ケアとマネジメントのバランスをもって仕事をしていきたい。(40代)
- ・保健師の管理的機能について、情報提供していきたい。(50代)
- ・統括的立場にはなくとも、新任期から看護管理能力を求められていることが分かり、まず身近な地域管理から、また事例管理をしていこうと思いました。また、統括保健師さんに頼るばかりでなく、自主的に他部署や他の保健師の仕事に関心を向け、情報収集を意識した仕事のしかたをしていきたいと思いました。(20代)
- ・自分の地区、事業はもちろんですが、管内全体や他の事業にも目を向け、もう少し全体を見ていけるようにしたいと思いました。(20代)
- ・まずは地区診断から考えたいと思いました。個別ケースについては、気になる方をノートにまとめているのですが、その方々について振り返りたいと思います。(20代)
- ・まずは地区診断ができ、地域の管理ができるように、住民や関係者と丁寧に関わって行きたいと思いました。また、所内におけるつながりも大切にしていきたいと感じました。(30代)
- ・忙しくても現場主義で、活動に生かしたい。(50代)
- ・統括的立場の保健師として、一人で悩んでいたが、もっと協力を求めて役割や今後の方向性など、皆で考えていこうと思った。(50代)

ク 今後、企画してほしい研修会や講演会、また保健師職能委員会に望むことや意見

- ・現任教育の工夫など (50代)
- ・今回のような研修を次年度も希望します。(50代)
- ・県保健師会で、平成27年12月に講演を開催した猪狩先生のお話が聞きたいです。参加できなかったの

ですが、とても勉強になったと参加者から聞いたので。(40代)

- ・研修会や委員会の活動をホームページにのせてほしいです。せっかく素晴らしいことをしているので、他の人にも知ってもらいましょう。(40代)
- ・統括保健師をサポートするための実践報告、研修会など(40代)
- ・参加してよかったです。ありがとうございました。(20代)

3 保健師職能だよりの発行

(1) 平成27年度 秋号 (別記1)

4 保健師職能委員長の各団体への参加・協力

(1) 千葉県看護協会事業への参加・協力

役員会・理事会・施設代表者会議

(2) 日本看護協会事業への参加・協力

全国・地区別職能委員長会議等参加

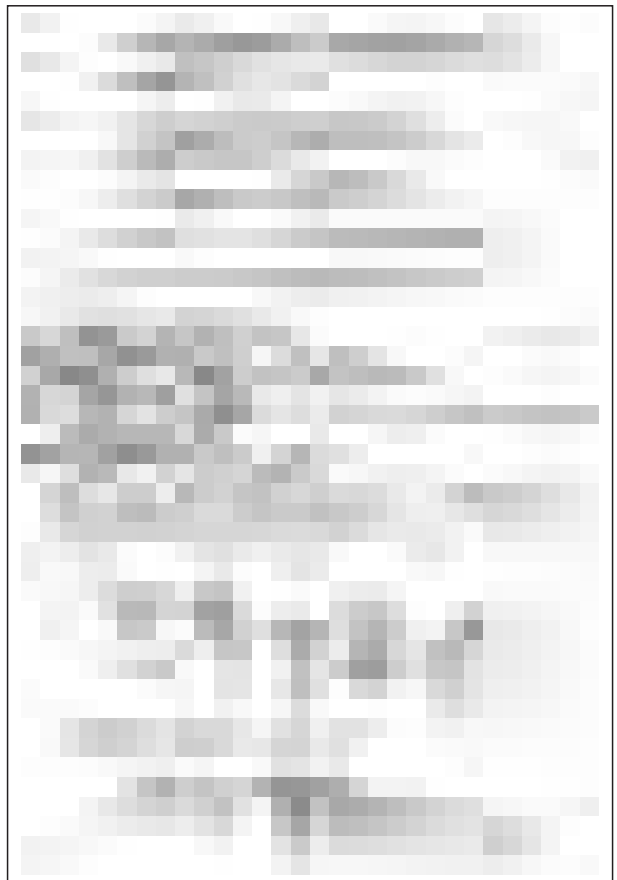
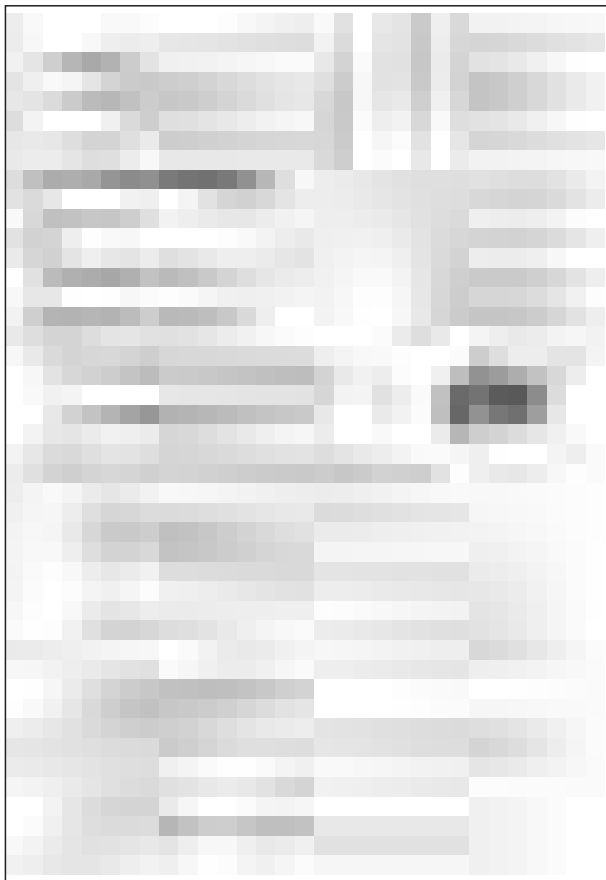
Ⅲ 保健師職能委員会開催状況

回数	開催月日	議 題	内 容
第1回	平成27年 8月18日	1. 委員会活動計画及び運営方法について 2. 日本看護協会保健師職能委員会活動状況調査	・職能委員会の役割(任務)の確認 ・職能委員会の活動計画について ・活動の方向性と役割分担 ・保健師活動交流会の検討 ・職能集会の検討 ・職能だよりの発行について ・日本看護協会保健師職能委員会活動状況調査について
第2回	9月18日	1. 保健師活動交流会の検討 2. 保健師職能集会について 3. 保健師職能だよりについて	・保健師活動交流会の詳細検討 ・保健師職能集会の検討 ・保健師職能だよりの作成に向けての検討
第3回	10月7日	1. メール会議	・保健師職能だより、交流会案内チラシの検討
第4回	10月20日	1. 保健師活動交流会の準備 2. 保健師職能だよりについて 3. その他	・交流会の準備 ・保健師職能だよりの決定 ・千葉県小児保健協会総会・学術集会の発表について
第5回	11月26日	1. メール会議	・職能集会案内チラシの検討
第6回	平成28年 1月6日	1. 保健師活動交流会の評価 2. 保健師職能集会の準備 3. 地区別職能委員長会議報告	・保健師活動交流会結果報告・評価 ・保健師職能集会準備 ・地区別保健師職能委員長会議報告
第7回	3月16日	1. 保健師職能集会の評価 2. 次年度計画について	・職能集会結果報告・評価 ・次年度計画の検討
第8回	4月26日	1. 次年度計画について 2. 加入者増にむけた保健師へのアンケートについて	・次年度計画の検討 ・アンケート方法・内容等の検討

IV 保健師職能委員会活動計画

項目	内容	
活動目標	1. 保健師の活動強化と活動領域を超えた保健師のネットワークの推進 2. 会員数を増やし、保健師職能の組織力のアップを図る	
委員会 開催予定	1. 保健師職能委員会 年6回 2. 三職能合同委員会	
検討事項	1. 保健師の活動強化 (1) 保健師職能集会の開催 (2) 関係機関との情報交換会の開催 (3) 日本看護協会（保健師職能委員会）との連携 2. 活動領域を超えた保健師のネットワークの推進 (1) 活動交流会の開催 (2) 関係機関との情報交換会の開催 3. 会員数を増やし、保健師職能の組織力アップを図る (1) アンケート調査の実施 (2) 保健師職能だよりの発行 (3) 加入案内チラシの作成・配布 (4) 保健師新規採用自治体等への勧誘活動 (5) 看護協会ホームページの活用	
職能集会	1. 前年度活動実績報告 2. 本年度活動方針について報告 3. 講演会又はシンポジウム等の開催 4. 意見交換・情報交換	
交流会	活動領域を超えた保健師との交流会の開催 1. 講演会又はシンポジウム等の開催 2. ワールドカフェ	
三職能合 同委員会	1. 三職能共通の課題の検討	
その他	日本看護協会	1. 千葉県看護協会保健師職能委員会活動状況報告 2. 日本看護協会総会（全国保健師職能集会） 3. 都道府県職能委員長会議 年2回 4. 地区別法人委員会・都道府県職能委員長会 年1回
	印刷物	1. 保健師職能だより 2. 職能集会資料
	その他	1. 千葉県看護協会事業への参加・協力 2. 千葉県小児保健協会理事会・総会への参画

(別記1)



助産師職能委員会

委員長 大澤 豊子

I 活動目標

1. 県民の安全かつ安心な妊娠、出産、育児をめざし、助産師が、実践能力を高め、その専門性を発揮できるように支援する。
2. 会員相互の情報交換を図り、県内産科医療施設間の連携を強化する。

II 活動内容

1. 職能集会

平成27年度 助産師職能集会

日 時：平成27年10月28日（水）13:00～16:30

場 所：千葉県看護会館 2階中研修室

テーマ：クロックミップに活用できる「分娩期のCTGモニタリングについて」

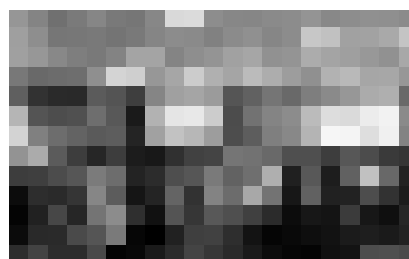
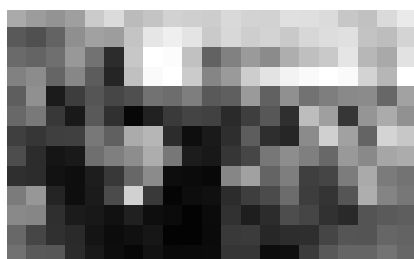
趣 旨：「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー/クロックミップ）レベルⅢ」の認証申請がスタートした。千葉県の分娩施設においては、分娩件数に対する助産師数が、不足していることや、院内助産や助産師出向システムの導入などが、課題として挙げられている。このような状況の中、助産師ひとりひとりが、助産実践能力を積み上げ、力を発揮していくためには、クロックミップは有用なツールになると考える。「分娩期のCTGモニタリングについて」の講演を行うと共に、クロックミップ推進に向けて、各施設の取り組みや課題解決についての情報交換の場を設けた。

内 容：★講演「分娩期のCTGモニタリングについて」

講 師：千葉市立海浜病院 産科統括部長 飯塚美徳先生

★グループディスカッション

テーマ：「助産実践の質の向上に向けた今後の取り組みと課題」



◆ 平成27年度 千葉県看護協会助産師職能集会 アンケート結果

- ・出席者数 52名（助産師職能委員7名含む）
- ・アンケート回収 40名（回収率76.9%）

1) 年齢

20代	30代	40代	50代	60代
10名(25%)	15名(37.5%)	9名(22.5%)	6名(15%)	0名

2) 勤務先の種類

総合病院 (産科単科)	総合病院 (産科混合)	総合病院 産科外来	産科個人病院 ・診療所	助産師養成機関	その他
8名	23名 (産婦人科6、三科以上6)	0名	4名	0名	2名 (内科1、看護学校1)

3) 職位

師長	主任	副主任	スタッフ	教員	その他
3名(7.5%)	3名(7.5%)	0名	33名(82.5%)	1名(2.5%)	0名

4) 助産師経験年数

1～3年	4～6年	7～10年	11～15年	16年以上
9名(22.5%)	8名(20%)	8名(20%)	8名(20%)	7名(17.5%)

5) 開催時期は適当か

はい	いいえ	無回答
36名(90%)	2名(5%)	2名(5%)

理由 はい

- ・年度始めや年度末は多忙なため
- ・落ち着いている時期だったため (2)
- ・次年度のラダーⅢ申請に向けて学習を深めることができた
- ・苦手な分野だったので参加できてよかった (経験年数少ない参加者) (2)

 いいえ

- ・今年度ラダーⅢの申し込み前がよかった

6) 講演の満足度

満足	やや満足	やや不満	不満
35名(87.5%)	5名(12.5%)	0名	0名

理由 満足・やや満足

- ・事例を基にレベルや対応を考えるスタイルがとても勉強になった (8)
- ・演習でハンドブックの活用法がわかった (2)
- ・わかりやすかった (3)
- ・知識の再確認ができた (2)

7) グループディスカッションの満足度

満足	やや満足	やや不満	不満
26名(65%)	12名(30%)	2名(5%)	0名

理由 満足・やや満足

- ・他施設の助産師の現状がわかってよかった (10)
- ・自施設の課題が見えた (2)
- ・新たな発見があり、よい刺激になった
- ・他施設の勉強方法が参考になった

 やや不満

- ・テーマが広すぎた (4)
- ・グループに教員が2名いたので、分散した方が臨床の人にはよかった

8) 全体を通して、今後の助産師活動に活かせるか

とても活かせる	やや活かせる	あまり活かさない	活かさない
23名(57.5%)	15名(37.5%)	2名(5%)	0名

理由 とても活かせる・やや活かせる

- ・他施設の現状がよくわかった (3)
- ・学んだことを自施設でも活用したい (3)

- ・やってみようと思えることがあり、モチベーションが向上した
- ・他にも同じようなことで困っている人がいることがわかり、がんばろうと思えた
- ・産後ケアについての情報が得られた
- ・異常があった場合に、勉強会の開催をしたい
- ・CTG判読の理解ができた (2)

あまり活かさない

- ・具体的な内容に話が及ばなかった

9) 今後の助産師同士のネットワーク作りに活用できるか

はい	いいえ	どちらでもない	無回答
20名 (50%)	2名 (5%)	17名 (42.5%)	1名 (2.5%)

理由 はい

- ・顔を合わせることができた
- ・情報交換ができた
- ・意見交換ができた

どちらでもない・いいえ

- ・ネットワーク作りまでは至らない (4)
- ・経験年数が近い方がコミュニケーションがとりやすく、今後につながる (3)

10) 取りあげてほしいテーマ

- ・産科救急 (3)
- ・産後ケア入院 (3)
- ・助産師外来 (2)
- ・乳房ケア
- ・院内助産
- ・1～2日の現場学習 (施設見学?)
- ・ラダーⅢ申請に必要な講義は参加も増加し、交流の場になる
- ・参加型母親学級
- ・子育てにつながる分娩時の関わり
- ・病床数確保のための助産師活動
- ・混合病棟でのモチベーションや経験知をあげるための方策

11) 助産師職能委員会に対する要望

- ・技術向上のための取り組み

総括：参加者は52名と、前回の職能集会より大幅に増加した。昨年度の産科管理者交流会でのアンケート調査結果や、クロックミップレベルⅢ申請直前の各施設の関心の高まりに対応する形で、講演内容をクロックミップレベルⅢの必須研修から選定したことが最大の要因である。「グループディスカッションについては、テーマが広すぎた」、「ネットワーク作りまでには至らなかった」、などとの意見を頂いた。一方で、職能集会や交流会で取り上げてほしいテーマに関しては、以前に増して多数の希望が挙げられている。「助産実践の質の向上に向けた今後の取り組みと課題」という広いテーマにより、取り掛かりが掴みにくい反面、自由に発想できた側面もあると思われる。活発な情報交換や交流を深めるためのテーマの設定は、今後の課題である。全体（講演・グループディスカッション）を通して、今後の助産師活動に活かせると答えた参加者は、95%を占めており、満足度は高かった。

2. 産科管理者交流会

平成27年度 産科管理者交流会

日 時：平成27年12月2日（水）10:00～16:00

場 所：千葉県看護会館 2階中研修室

テーマ：CLOCMiPに活用できる「助産ケアと倫理」

趣 旨：「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー/CLOCMiP）レベルⅢ認証制度」がスタートしたことにより、「ラダーⅢ認証関連の講演などを実施してほしい」という意見が多数寄せられた。そこで、「助産ケアと倫理」についての講演を交えた交流会を企画し、施設内での研修企画に生かしてもらうこととした。CLOCMiPおよび院内助産、助産師出向支援システムの推進に向けて、各施設の取り組みや課題解決についての情報交換を企画した。

内 容：★講演「助産ケアと倫理」

講師：東京医科歯科大学 医学部附属病院 外来副師長 小笹由香 先生

★グループディスカッション

テーマ：「CLOCMiPおよび院内助産、助産師出向支援システムの推進に向けた今後の取り組みと課題」

◆ 平成27年度 産科管理者交流会アンケート 集計結果

- ・参加者数：31名
- ・アンケート回収数：31名 回収率：100%

1) 年齢

20代	30代	40代	50代	60代
0名	9名	16名	6名	0名

2) 勤務先の種類

総合病院（産科単科）	総合病院（産科混合）	産科個人病院・診療所	その他
5名	18名	7名	1名看護学校教員

2-1 混合ユニットマネジメントについて

知っている	聞いたことはあるがあまり知らない	知らない	未回答
7名	2名	8名	2名

2-2 混合病棟で困っていること

- ・他科・高齢患者への対応
- ・管理者との空床利用の考え方の違い
- ・看護師との協力が難しい
- ・スタッフ教育
- ・看護の質、モチベーションの維持
- ・感染

2-3 行っている対策

- ・情報提供、情報交換（部長、他の師長、看護師）
- ・人材育成、オリエンテーション
- ・対策が取れず困っている
- ・他の病棟との協力（他の病棟に入院依頼）
- ・待機制であるため、待機看護師を呼ぶ